

# CARTA

HOLDINGS

NEW JOURNEY, NEW STANDARD

—— 2019年12月期 ——

## 通期決算説明資料

2020年2月12日  
東証一部：3688



# AGENDA

**P.02** 2019年度通期 連結業績

**P.12** 2019年度通期 主要事業概況

**P.29** 2020年度 方針と業績見通し

**P.39** 補足資料

**P.47** 参考資料



### 3 2019年12月期通期 業績ハイライト

#### 収益

期首業績予想を10月に上方修正、前年比で**増収増益**

2019年の売上総利益は**前年比11.9%増**と**過去最高**を達成

2019年の営業利益は**前年比3.8%増**

中計の重要指標であるEBITDAは**40.3億円**と初年度目標31億円を**超過達成**

#### B/S

経営統合及び業績の伸長に伴い、純資産が**237億円**に

#### 株主還元

2019年度の年間配当金は、2018年度の15円/株から**16円/株**へ

**自己株式取得**について本日リリース

# 4 2019年12月期通期 業績

10月16日修正開示した業績予想に対して営業利益38.3億円（達成率109%）、EBITDA48.7億円（達成率108%）と、ともに大きく上回って着地

## 2019年12月期 通期（2018年10月～2019年12月）

実績

業績予想  
(10月16日修正開示)

業績予想

達成率

(単位：百万円)

	実績	業績予想 (10月16日修正開示)	達成率
売上高	26,158	26,000	100.6%
売上総利益	22,965	—	—
営業利益	3,839	3,500	109.7%
EBITDA <sup>※1</sup>	4,878	4,500	108.4%

※1 EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）＝税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋償却費＋のれん償却費

# 5 【参考】2019年12ヵ月換算 業績

売上高229億円（前年比10.8%増）、営業利益30.8億円（前年比3.8%増）と増収増益  
実質的な営業利益を表すのれん償却前営業利益は37.4億円（前年比17.8%増）に

2019年12ヵ月換算（2019年1月～12月）					
実績	前年 （両社の合算数値※1）		12ヵ月換算業績予想 （10月16日修正開示）		
	2018年実績	増減率	業績予想	達成率	
（単位：百万円）					
売上高	22,927	20,701	+10.8%	22,769	100.7%
売上総利益	19,980	17,854	+11.9%	—	—
営業利益	3,082	2,968	+3.8%	2,743	112.4%
のれん償却前 営業利益	3,746	3,179	+17.8%	—	—
EBITDA※2	4,033	4,335※3	-7.4%	3,657	110.3%

※1 比較情報として新収益認識基準（ネット計上）の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

※2 EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）＝税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋償却費＋のれん償却費

※3 株式売却等の特殊要因679百万円を含む

各セグメントにおいて増収増益を実現

(単位：百万円)		2019年12ヵ月換算（2019年1月～12月）		
		実績	前年 （両社の合算数値※1）	
			2018年実績	増減率
パートナー セールス事業	セグメント売上高	10,308	9,484	+8.7%
	セグメント営業利益※2	2,262	1,870	+21.0%
アドプラットフォーム 事業	セグメント売上高	6,129	5,398	+13.5%
	セグメント営業利益	1,261	1,098	+14.9%
コンシューマー 事業	セグメント売上高	6,553	5,994	+9.3%
	セグメント営業利益	222	211	+5.3%

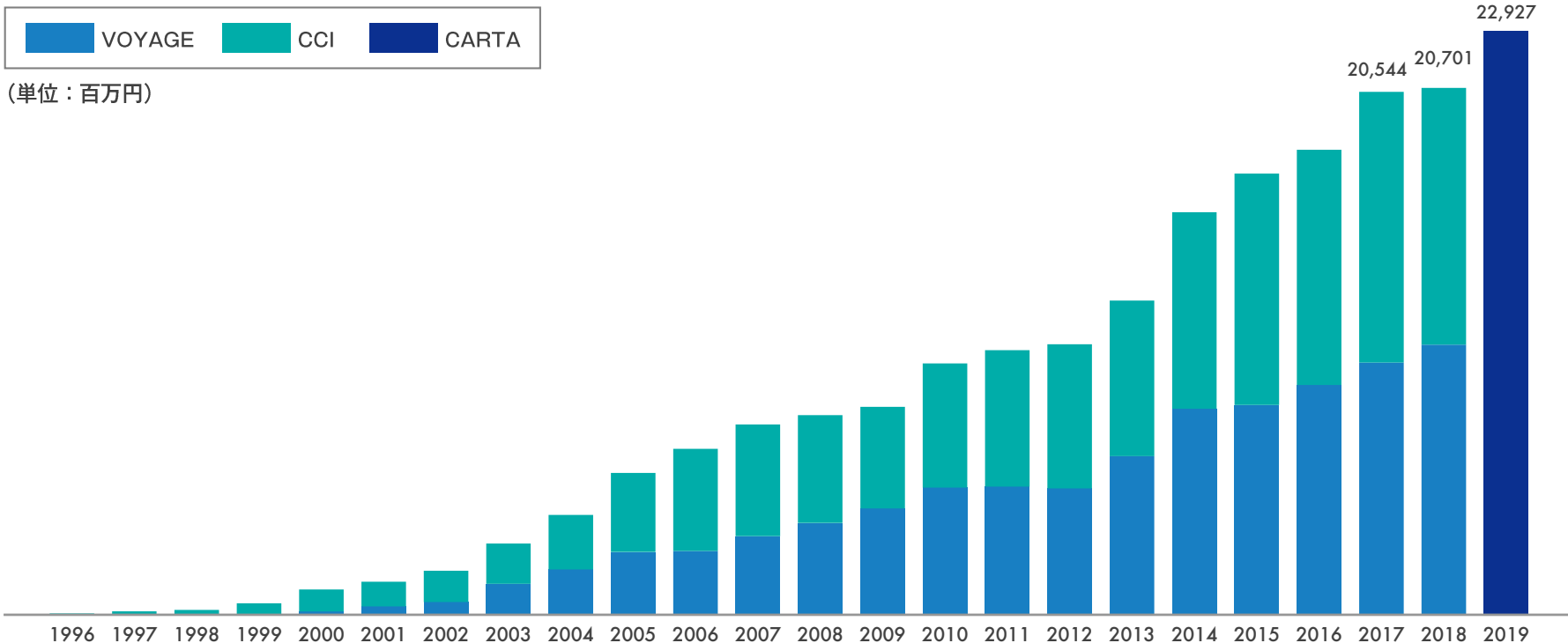
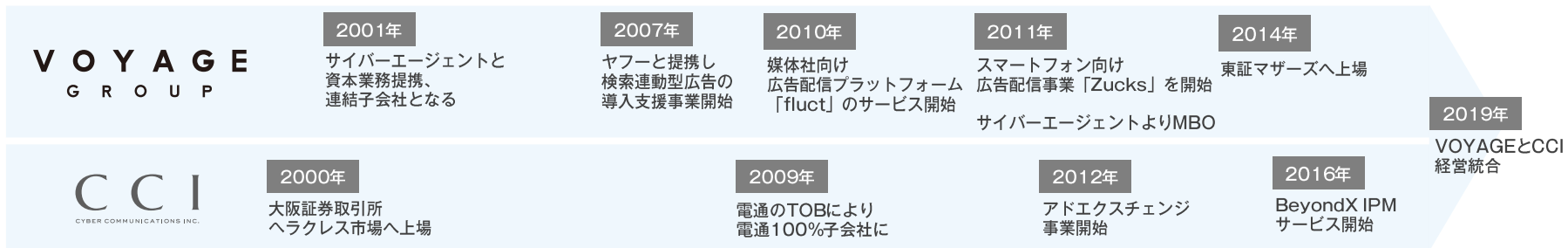
※1 比較情報として新収益認識基準（ネット計上）の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

※2 セグメント営業利益は、のれん等調整項目があるため、合計が全社営業利益とは一致しません



# 7 【参考】連結売上高推移（12ヵ月換算）

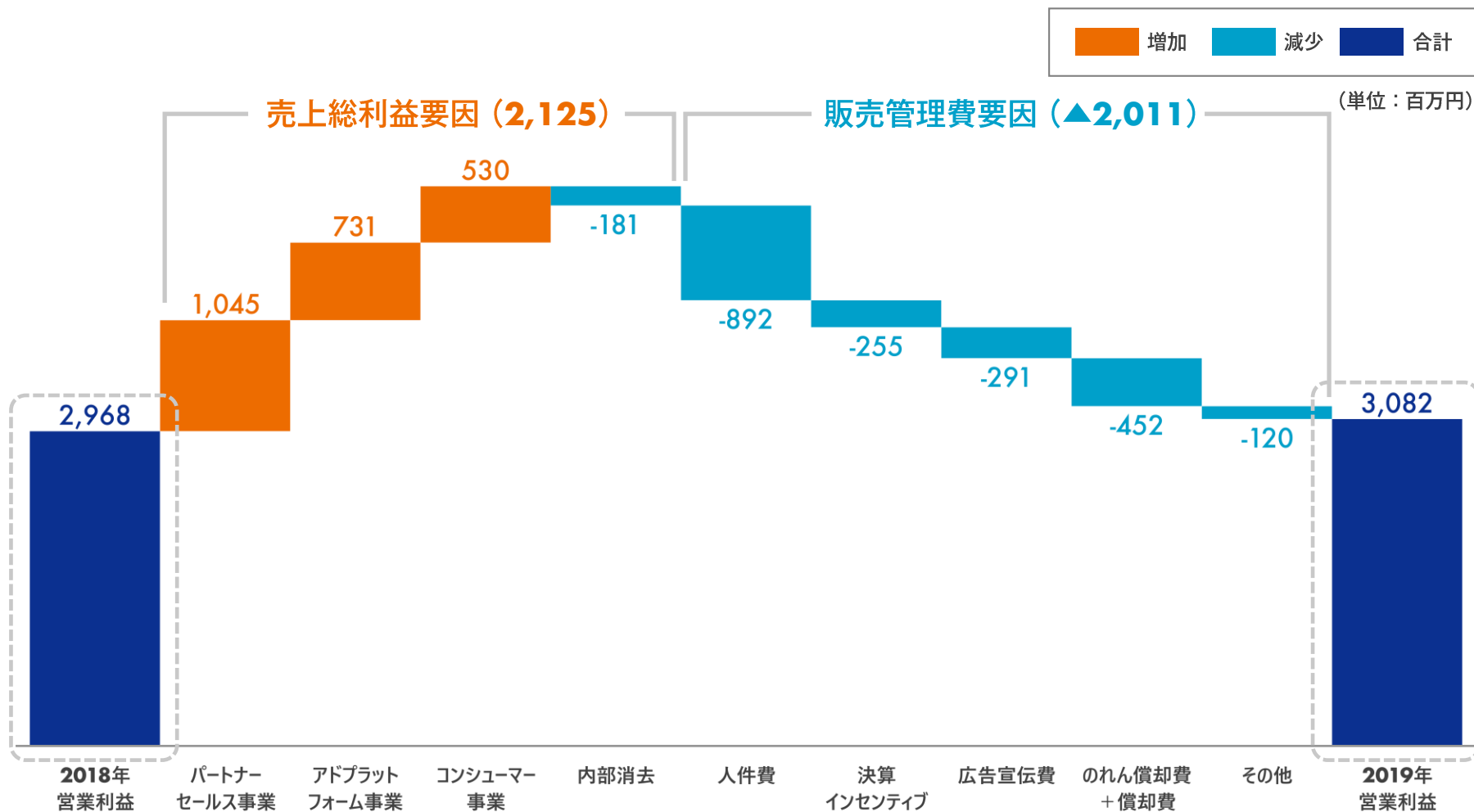
## CCIとの経営統合によりインターネット広告関連企業として日本有数の企業に



※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準（ネット計上）の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUP及びCCIの数値（監査対象外）

# 8 【参考】 連結営業利益の変動要因（12ヵ月換算）

売上総利益が前年比21.2億円増加した一方で、販売管理費全体では20.1億円の増加にとどまったため営業利益は前年比で1.1億円の増加となった



※ 2018年はVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）



(単位：百万円)		2018年1～12月※1	2019年1～12月	前年比
売上高		20,701	22,927	+10.8%
売上総利益		17,854	19,980	+11.9%
販売管理費		14,886	16,897	+13.5%
営業利益		2,968	3,082	+3.8%
	営業外収益	99	157	+58.8%
	営業外費用	136	195	+43.2%
経常利益		2,931	3,044	+3.9%
	特別利益	679	141※3	-79.2%
	特別損失	157	428※4	+172.7%
税金等調整前当期純利益		3,453	2,756	-20.2%
親会社株主に帰属する当期純利益		2,210	1,622	-26.6%
EBITDA※2		4,355	4,033	-7.4%

※1 新収益認識基準（ネット計上）の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPの数値（監査対象外）

※2 EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）＝税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋償却費＋のれん償却費

※3 特別利益：主に事業譲渡益139百万円

※4 特別損失：主に投資有価証券売却損163百万円、本社移転費用121百万円、固定資産除却損116百万円

# 10 連結貸借対照表

	2018年9月期※1 2018年9月末	2019年12月期 2019年12月末	増減
(単位：百万円)			
流動資産	10,538	36,283	+25,744
うち現金及び預金	5,679	14,546	+8,867
固定資産	6,256	14,338	+8,081
<b>総資産</b>	<b>16,794</b>	<b>50,621</b>	<b>+33,826</b>
流動負債	7,158	25,019	+17,861
固定負債	858	1,881	+1,022
純資産	8,777	23,720	+14,943
<b>負債及び純資産</b>	<b>16,794</b>	<b>50,621</b>	<b>+33,826</b>
(参考) ネットキャッシュ	4,690	14,030	+9,339

※1 2018年9月期はVOYAGE GROUPの数値

# 11 連結キャッシュフロー計算書

	2018年9月期※1	2019年12月期	増減
(単位：百万円)			
営業活動による キャッシュフロー	602	5,901	+5,299
投資活動による キャッシュフロー	200	3,986	+3,786
財務活動による キャッシュフロー	-568	-548	+19
フリーキャッシュフロー	401	1,914	+1,513
現金及び現金同等物の 期末残高	5,679	14,546	+8,867

※1 2018年9月期はVOYAGE GROUPの数値

## AGENDA

P.02 2019年度通期 連結業績

P.12 2019年度通期 主要事業概況

P.29 2020年度 方針と業績見通し

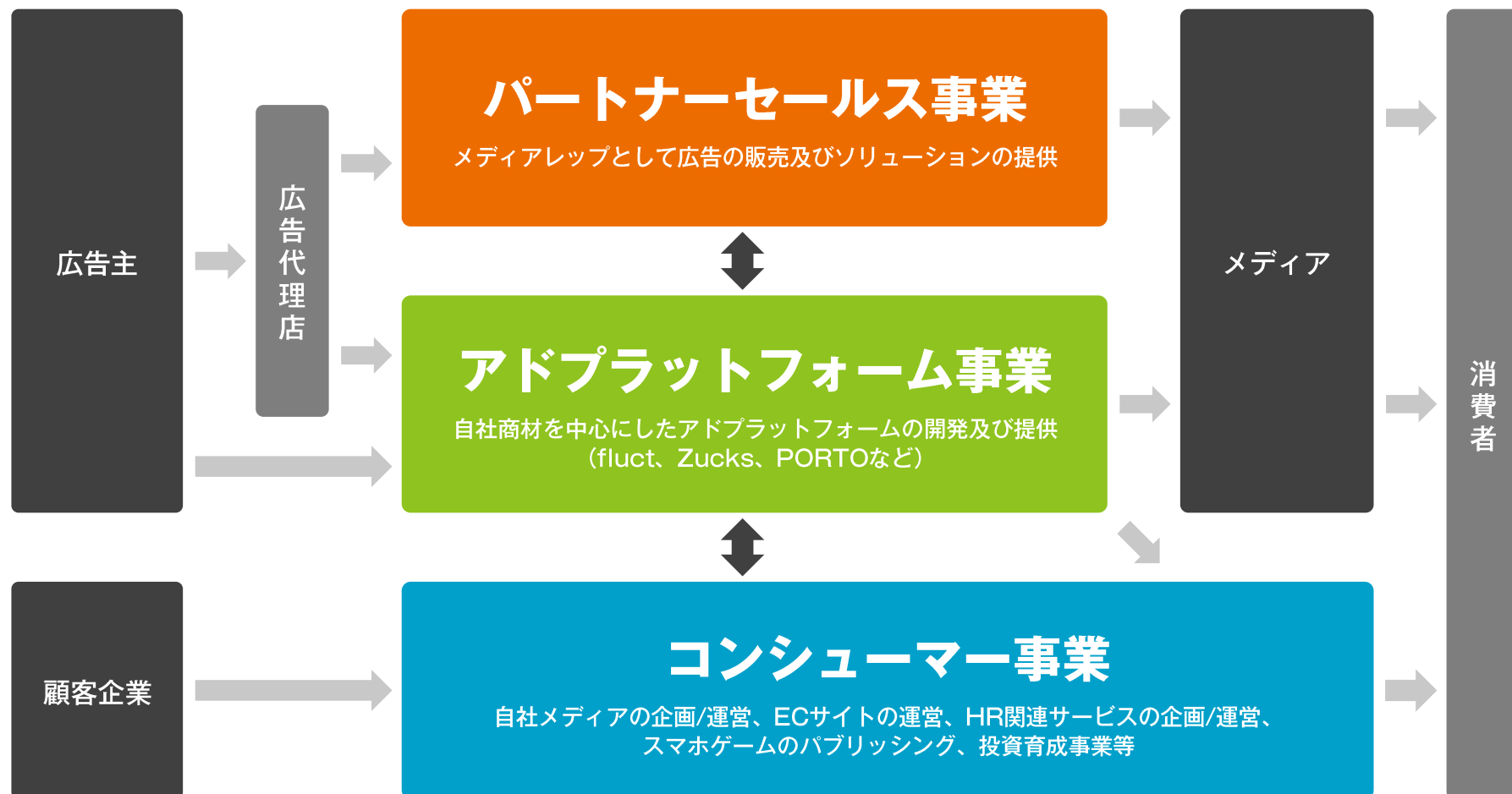
P.39 補足資料

P.47 参考資料



# 13 事業概要及び成長戦略

アドプラットフォーム事業及びパートナーセールス事業を中心に、自社メディアなどの  
コンシューマー事業を行うことで、広告市場における垂直統合を推進  
オーガニックでの成長を原則としながらもM&Aも視野に



# 14 広告関連のプロダクト/サービス



広告主  
広告会社



メディア

## DSP / アドネットワーク



スマートフォン特化型  
CPC型アドネットワーク



ブランド広告主向け  
アドプラットフォーム

## SSP



メディア向け収益最大化を  
支援するSSP

## PMP



音声コンテンツ媒体への  
音声広告配信サービス



プレミアム媒体/コンテンツ面への  
インストリーム運用型広告サービス



280以上のプレミアム媒体社が  
参画するPMP

## DMP



4億ユニークブラウザ、  
1億モバイル広告IDのデータを保有・分析

## 3PAS



ビデオ等広告テンプレート  
クリエイティブ配信・管理

## アフィリエイト



スマートフォン特化型  
CPI/CPA広告ネットワーク

## デジタルサイネージ



DOOH広告の  
プログラマティック配信

## メディア向けツール



広告在庫資産  
運用サービス

## 情報サービス



インターネットメディア広告情報



メディア収益  
一元管理サービス



# PARTNER SALES

パートナーセールス事業



# 16 パートナーセールス事業

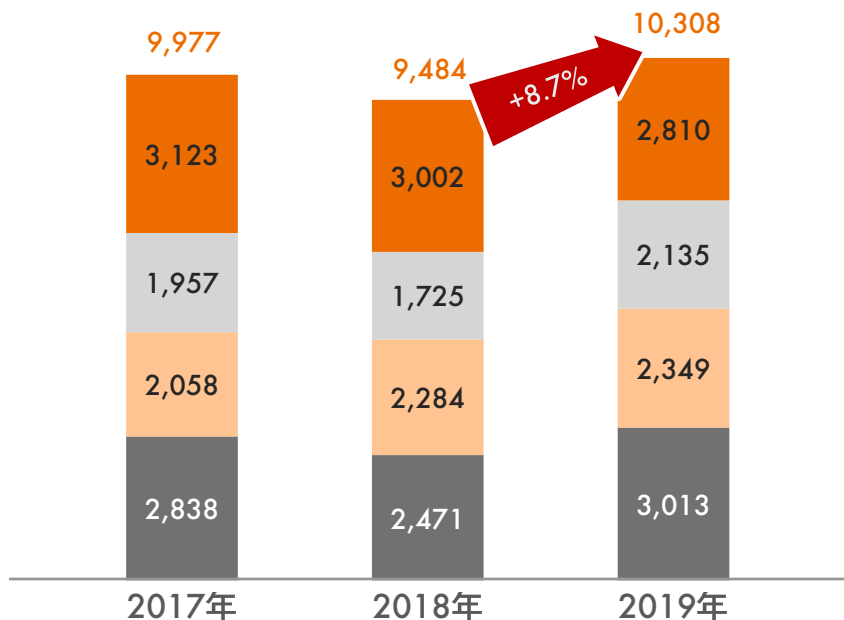


# 17 パートナーセールス事業 セグメント業績（12カ月換算） CARTA HOLDINGS

当初の想定を大きく上回り、売上高103億円（前年比8.7%増）、  
営業利益22.6億円（前年比21.0%増）の増収増益に

セグメント売上高

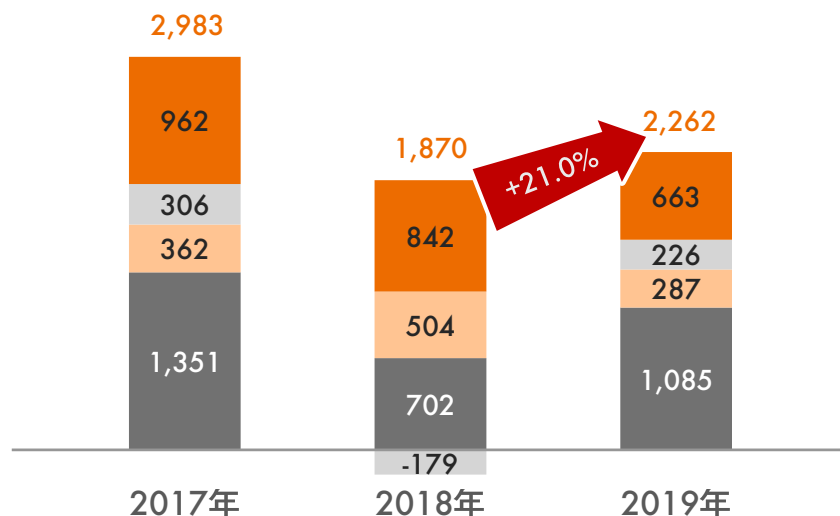
（単位：百万円）



■ 1~3月 ■ 4~6月 ■ 7~9月 ■ 10~12月

セグメント営業利益

（単位：百万円）

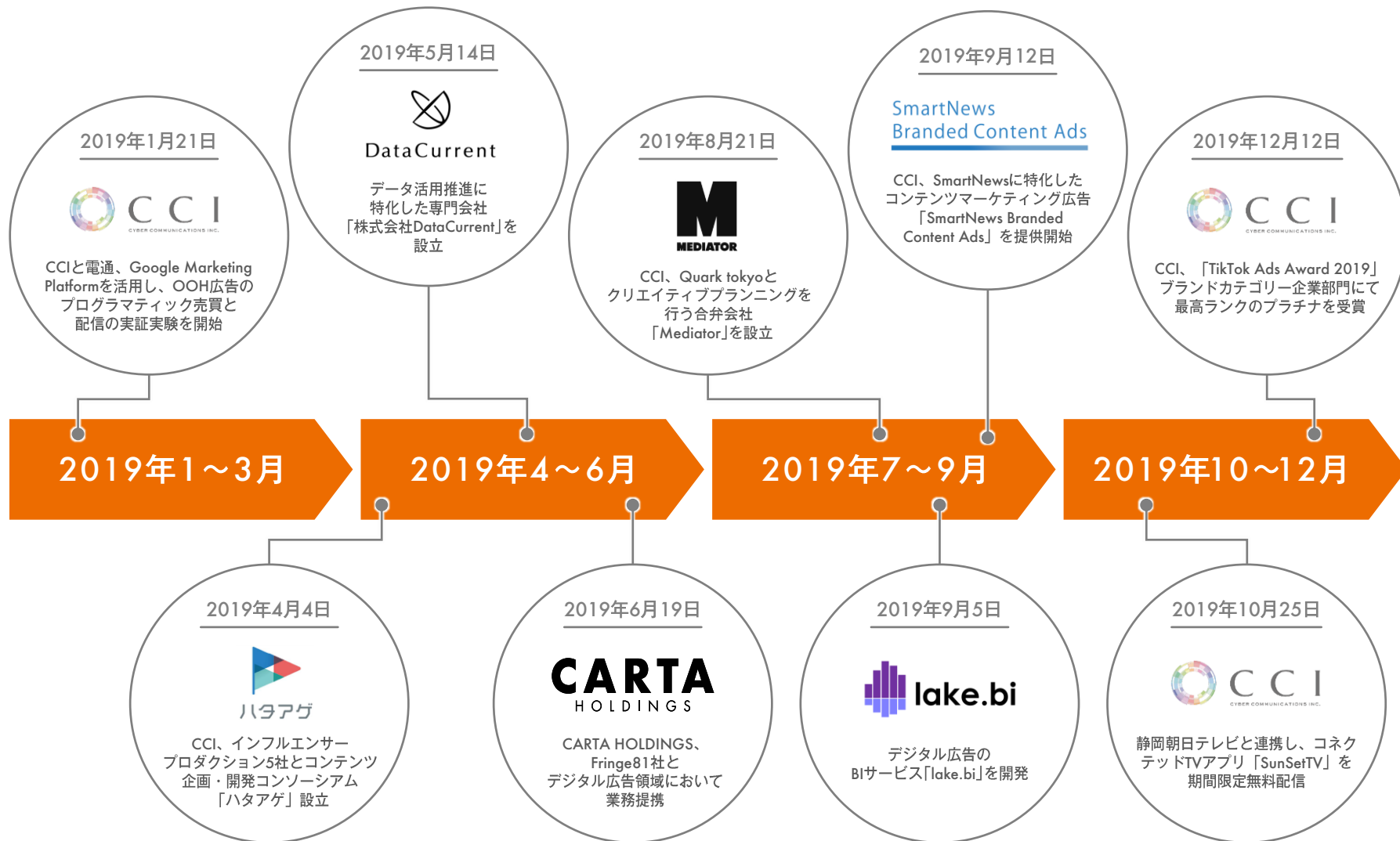


■ 1~3月 ■ 4~6月 ■ 7~9月 ■ 10~12月

※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準（ネット計上）の早期適用及びセグメント変更を遡及して反映したCCIの数値（監査対象外）  
 ※ セグメント営業利益は、のれん等調整項目があるため、合計が全社営業利益とは一致しません。

# 18 パートナーセールス事業 2019年の取り組み

販売チャネル戦略の見直しや新会社/合併会社設立など顧客接点強化に取り組む



# AD PLATFORM

アドプラットフォーム事業

# 20 アドプラットフォーム事業

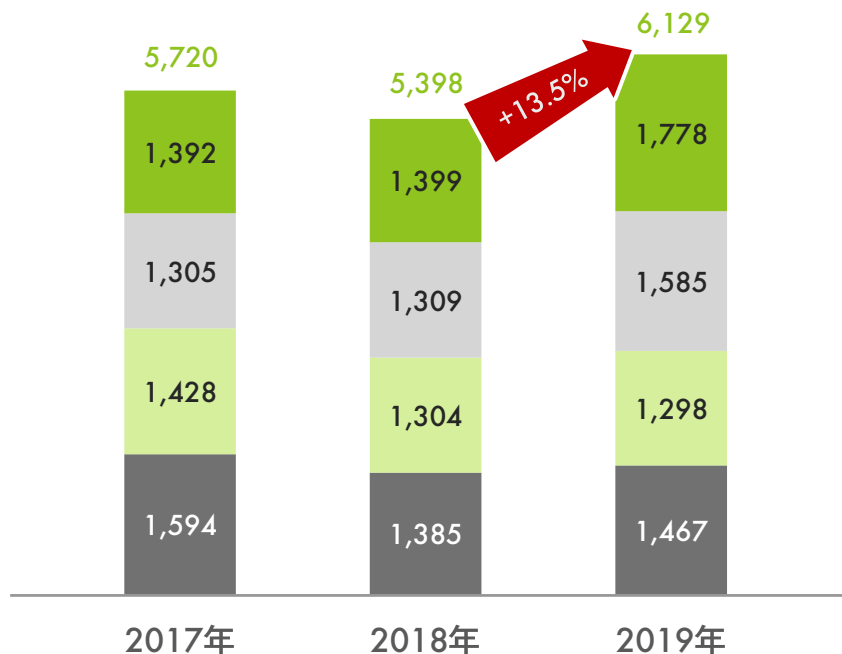


# 21 アドプラットフォーム事業 セグメント業績（12ヶ月換算）

デマンドサイドが成長を牽引し、売上高は61.2億円（前年比13.5%増）、営業利益は12.6億円（前年比14.9%増）とどちらも過去最高を達成

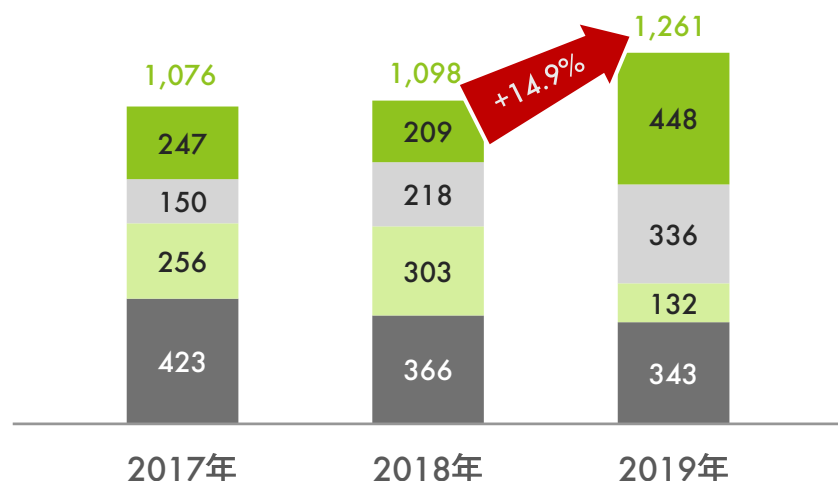
セグメント売上高

（単位：百万円）



セグメント営業利益

（単位：百万円）



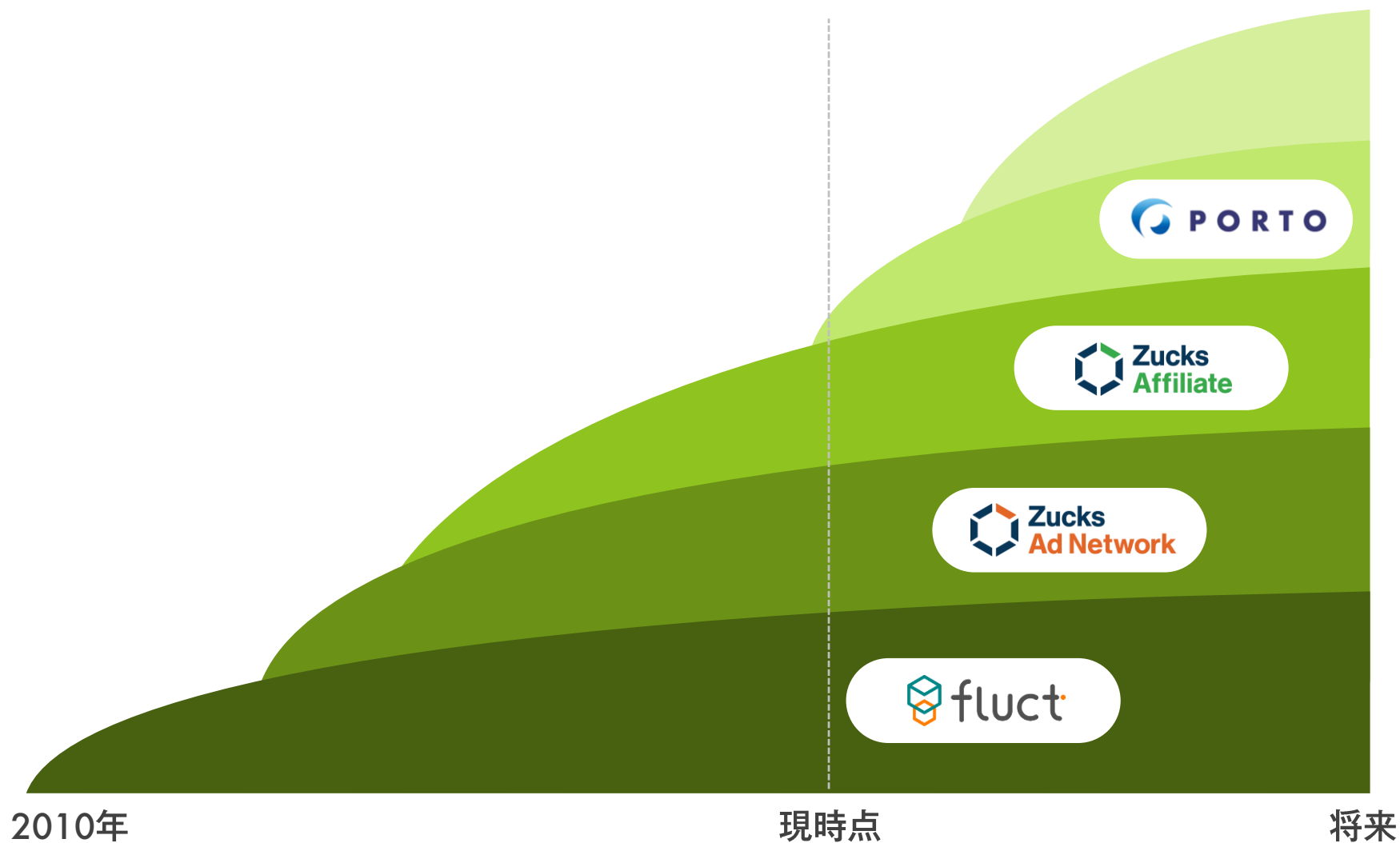
■ 1~3月 ■ 4~6月 ■ 7~9月 ■ 10~12月

■ 1~3月 ■ 4~6月 ■ 7~9月 ■ 10~12月

※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準（ネット計上）の早期適用及びセグメント変更を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）  
 ※ セグメント営業利益は、のれん等調整項目があるため、合計が全社営業利益とは一致しません。

# 22 アドプラットフォーム事業における持続的成長

サプライサイドからデマンドサイドへ事業領域を拡大させながら持続的な成長を実現





# 23 アドプラットフォーム事業 2019年の取り組み

fluctやZucksについては継続的な改善を行いつつ、  
ブランド広告主向け広告プラットフォームPORTOのリリース／機能追加



## 24 連結子会社CMerTV社の持ち分の一部譲渡（非連結化）

2020年1月15日付けで保有するCMerTV社の一部株式を小学館等へ譲渡  
これに伴い、CMerTV社は非連結化へ

異動前の所有株式数	37,200株（53.6%）
譲渡株式数	23,500株
譲渡価格	譲渡価額の決定方法を含めて株式譲渡先の意向により開示を控えさせていただきます。
異動後の所有株式数	13,700株（19.7%）

# CONSUMER

コンシューマー事業

## メディア



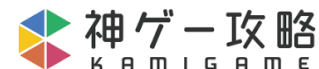
会員数600万人を超える  
ポイントサイト「ECナビ」の  
企画・運営



170万人のアンケートモニターを抱え  
「リサーチパネル」の  
企画・運営



ポイント交換プラットフォーム  
「PeX」の企画・運営



ゲーム総合メディア



国内最大の  
無料辞典サイト



犬種特化型  
ペットメディアの企画・運営



マンガ・アニメ  
百科事典サイト



子育てママのための  
無料プリント整理アプリ



ガイドブックのような旅行お役立ちサイト  
IMATABI  
今だからできる旅をしよう。

学生向け旅行メディア



探したいアプリが見つかる

iPhone/iPadアプリを  
比較・検討できるサイト

## HR・ゲーム・ECなど



キャリア支援事業



海外のスマートフォン向けゲームの  
パブリッシング・マーケティング事業



ふるさと納税サイト  
「ふるさと本舗」の企画・運営



未上場インターネット関連  
ベンチャー企業への投資



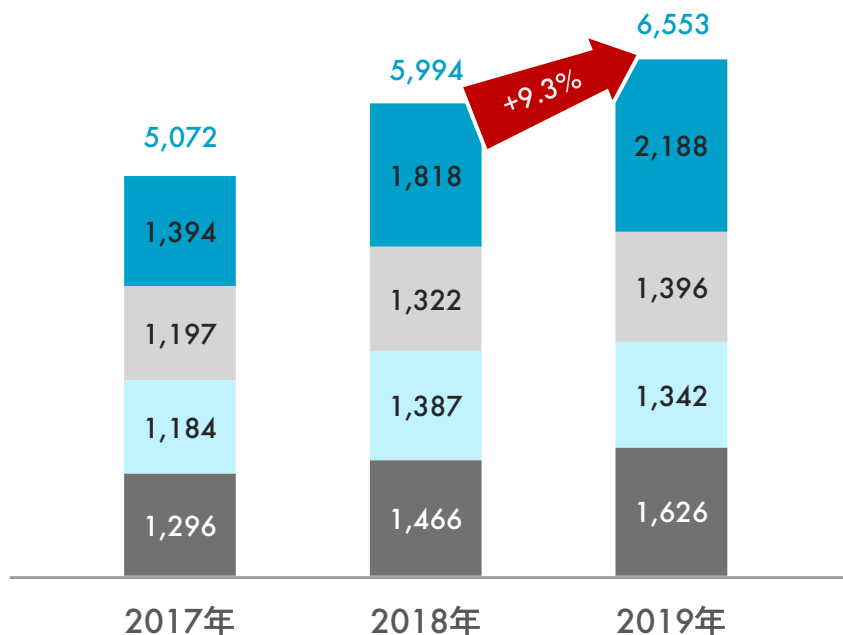
給与前払いサービス

# 27 コンシューマー事業 セグメント業績（12ヶ月換算）

新規事業を始める一方で事業撤退/事業売却など事業ポートフォリオの見直しを進め、売上高は65.5億円（前年比9.3%増）、営業利益は2.2億円（前年比5.3%増）に

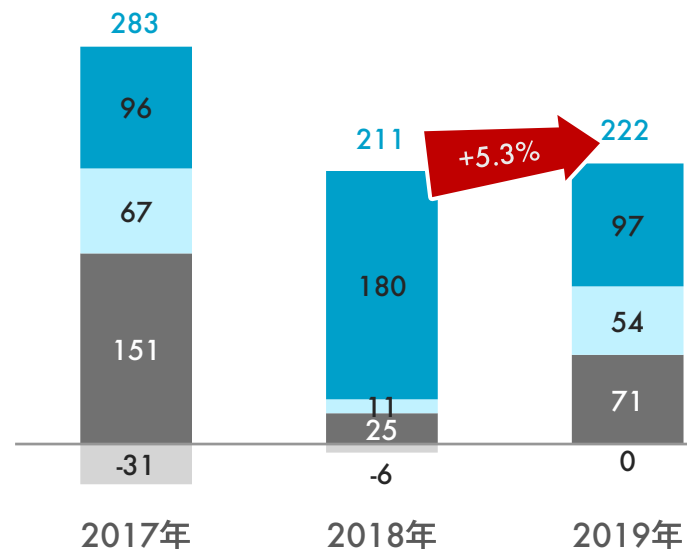
セグメント売上高

（単位：百万円）



セグメント営業利益

（単位：百万円）



■ 1~3月 ■ 4~6月 ■ 7~9月 ■ 10~12月

■ 1~3月 ■ 4~6月 ■ 7~9月 ■ 10~12月

※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準（ネット計上）の早期適用及びセグメント変更を遡及して反映したVOYAGE GROUPの数値（監査対象外）  
 ※ セグメント営業利益は、のれん等調整項目があるため、合計が全社営業利益とは一致しません。

# 28 コンシューマー事業 2019年の取り組み

ポイントメディア事業において安定的に利益を創出  
それを新規領域であるメディア領域、HR領域、EC領域へ積極的に投資





# AGENDA

**P.02** 2019年度通期 連結業績

**P.12** 2019年度通期 主要事業概況

**P.29** 2020年度 方針と業績見通し

**P.39** 補足資料

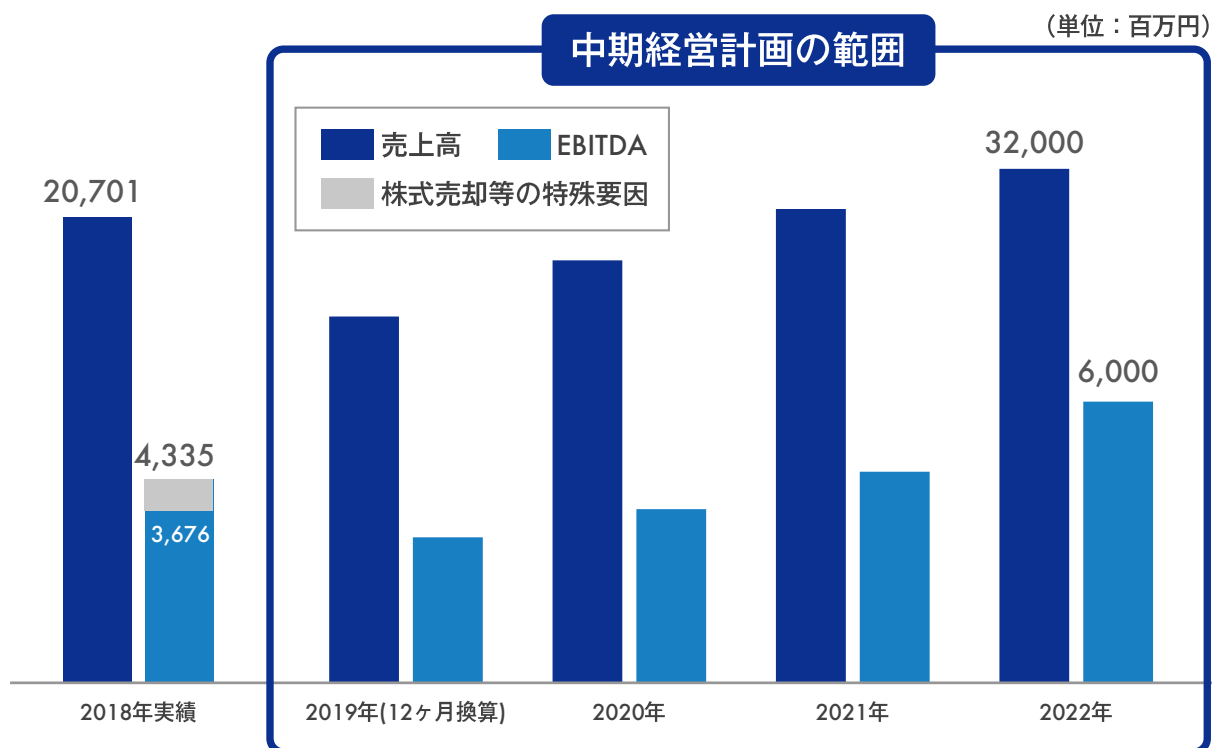
**P.47** 参考資料





# 30 中期経営計画「CARTA2022」の概要（再掲）

EBITDAを重要指標とし、2022年度で60億円を目指す



## 重点的な取り組み

- ①事業シナジーの推進
- ②電通グループとの協業推進
- ③経営基盤の強化

## 成長戦略

- ①既存事業の成長
- ②M&Aや投資による成長
- ③新領域への挑戦

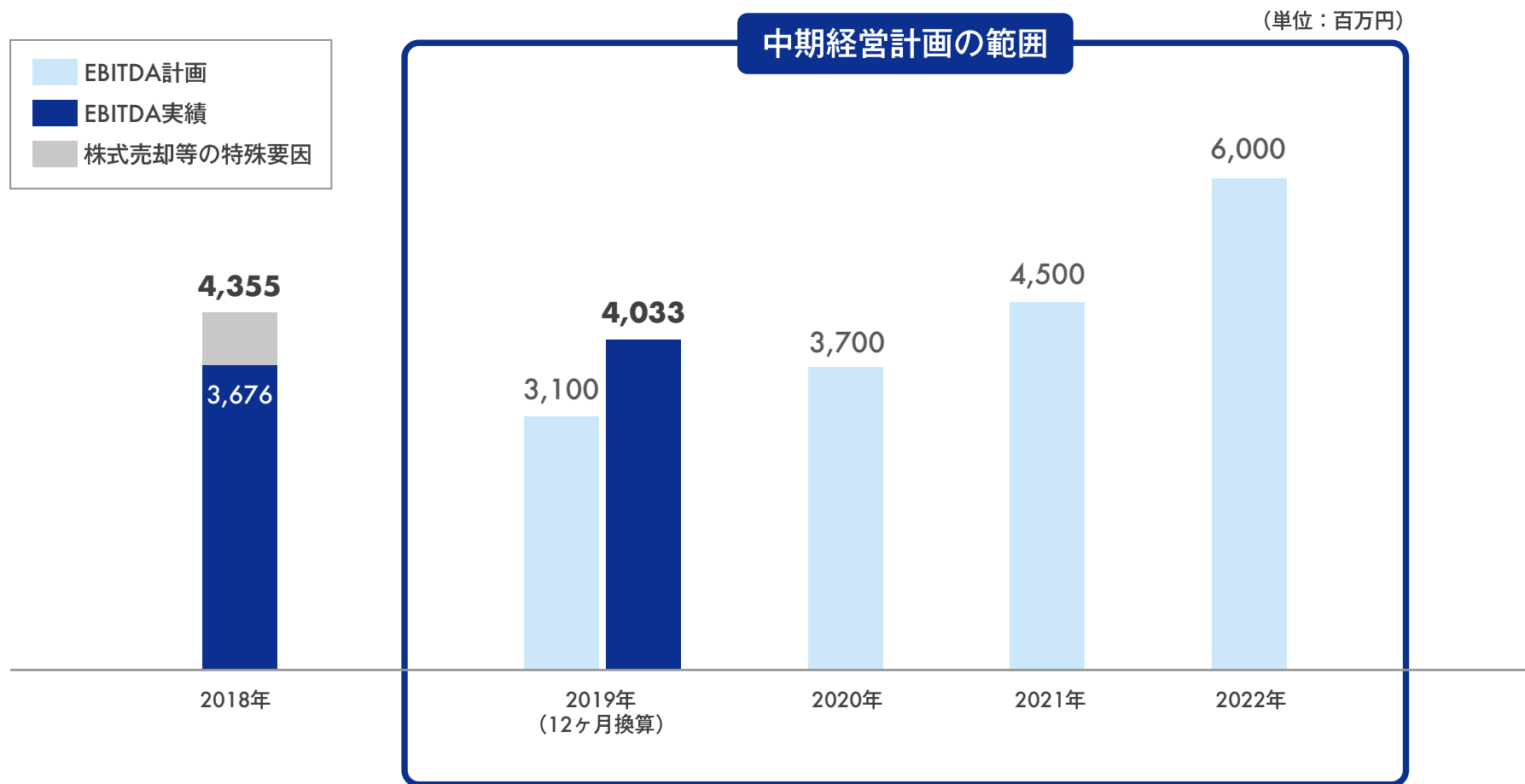
飛躍の  
ステージへ

※1 各年12月期ベースでの12ヶ月間の数値。2019年度は実際には15ヶ月間の変則決算。

※2 2018年実績は、比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

# 31 中期経営計画の重要指標であるEBITDAの進捗

EBITDAは初年度目標31.0億円を大幅に上回り40.3億円  
2022年EBITDA60億円の達成に向けて順調に推移



※1 各年12月期ベースでの12ヶ月間の数値。2019年度は実際には15ヶ月間の変則決算

※2 2018年実績は、比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

経営統合の初年度として着実に計画を実行し、想定を上回る良い形で着地

## グループ全体

- 事業部制及び管理会計制度の導入と迅速な経営体制の構築へ着手
- 働きがいのある会社を目標として組織・人事に関する基本原則を作成
- クラウドコンピューティング分野などの共通仕入れによるコスト削減を推進

## パートナー セールス事業

- 販売チャンネル戦略の見直し、選択と集中により粗利生産性の向上
- DataCurrentなどの専門性の高い子会社設立により顧客接点を強化
- CARTAグループ商材の販売強化、連携強化によりグループシナジーを推進

## アドプラット フォーム事業

- 「fluct」、「Zucks」の既存事業の徹底強化による持続的成長を実現
- ブランド広告主向けアドプラットフォーム「PORTO」をリリースし、  
ディスプレイ広告／オーディオ広告／動画広告へ対応
- 関連部署の統廃合、重複する自社プラットフォームの統廃合を推進し、重複コストを削減

## コンシューマー 事業

- メディア子会社を再編し、生産性向上と連携強化を実現
- 持続的成長に向けてペットメディア「rakanu」の連結子会社化、既存事業の撤退、  
新規事業の開始など事業ポートフォリオの見直しを推進
- パートナーセールス事業との連携を強化し、グループシナジーを推進

## 企業価値最大化に向けて経営統合から「経営融合」へ

### グループ全体

- 持続的成長を実現するための**共通基盤の整備／強化**
- **粗利生産性の向上／間接部門のスリム化**
- 早期の上場再承認に向けた**社内体制の強化**

### パートナー セールス事業

- パートナーセールス事業全体の**生産性向上**
- 運用型広告の**トレーディングデスク機能の強化**
- **グループ商材比率の向上、連携強化によりグループシナジーを推進**

### アドプラッ ト フォーム事業

- 「fluct」「Zucks」といった**既存広告プラットフォームの徹底強化**
- ブランド広告主向けプラットフォーム「PORTO」の**強化**
- メガプラットフォーマーと**連携した事業の強化**

### コンシューマー 事業

- **自社メディア／EC／マーケティングソリューション領域の強化**
- **M&Aの強化**
- **新規事業の展開**

# 34 2020年12月期の連結業績予想

2020年度についてはアップサイド/ダウンサイドともに不確定要素が多いため、  
営業利益・EBITDAについては中期経営計画の2020年度の目標数値を今期の業績予想に

(単位：百万円)	業績予想	前年比※2
売上高	23,000	+0.3%
売上総利益	20,000	+0.1%
営業利益	2,500	-18.9%
EBITDA※1	3,700	-8.3%

## [ 業績予想に織り込まれてないアップサイド・ダウンサイド要因 ]

### アップサイド

- オリンピック
- 各事業が想定以上に成長
- 受取インセンティブが想定以上に発生
- 新規 M & A

### ダウンサイド

- オリンピック終了後の景気動向
- 3rd Party Cookie/GDPRへの対応
- アドネットワークの広告掲載レギュレーションの変更
- メディアとの取引条件悪化

※1 EBITDA (利払い前・税引き前・償却前利益) = 税金等調整前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + 償却費 + のれん償却費

※2 2019年12ヵ月換算との比較

# 35 2020年12月期のセグメント売上予想

パートナーセールス事業は予約型広告から運用型広告への大きな市場トレンドの変化を見据えて保守的に前年比10%減を想定

(単位：百万円)	セグメント売上予想	前年比※1	見通し
パートナーセールス事業	9,300	-9.8%	予約型広告から運用型広告への大きな市場トレンドの変化を見据えて保守的に前年比9.8%減に
アドプラットフォーム事業	6,300	+2.8% (+16.3%※2)	CMerTV非連結化を考慮すると、実質的に16.3%成長を目指す
コンシューマー事業	7,400	+12.9%	積極的に広告宣伝費を投入し12.9%成長を目指す

※1 2019年12ヵ月換算との比較

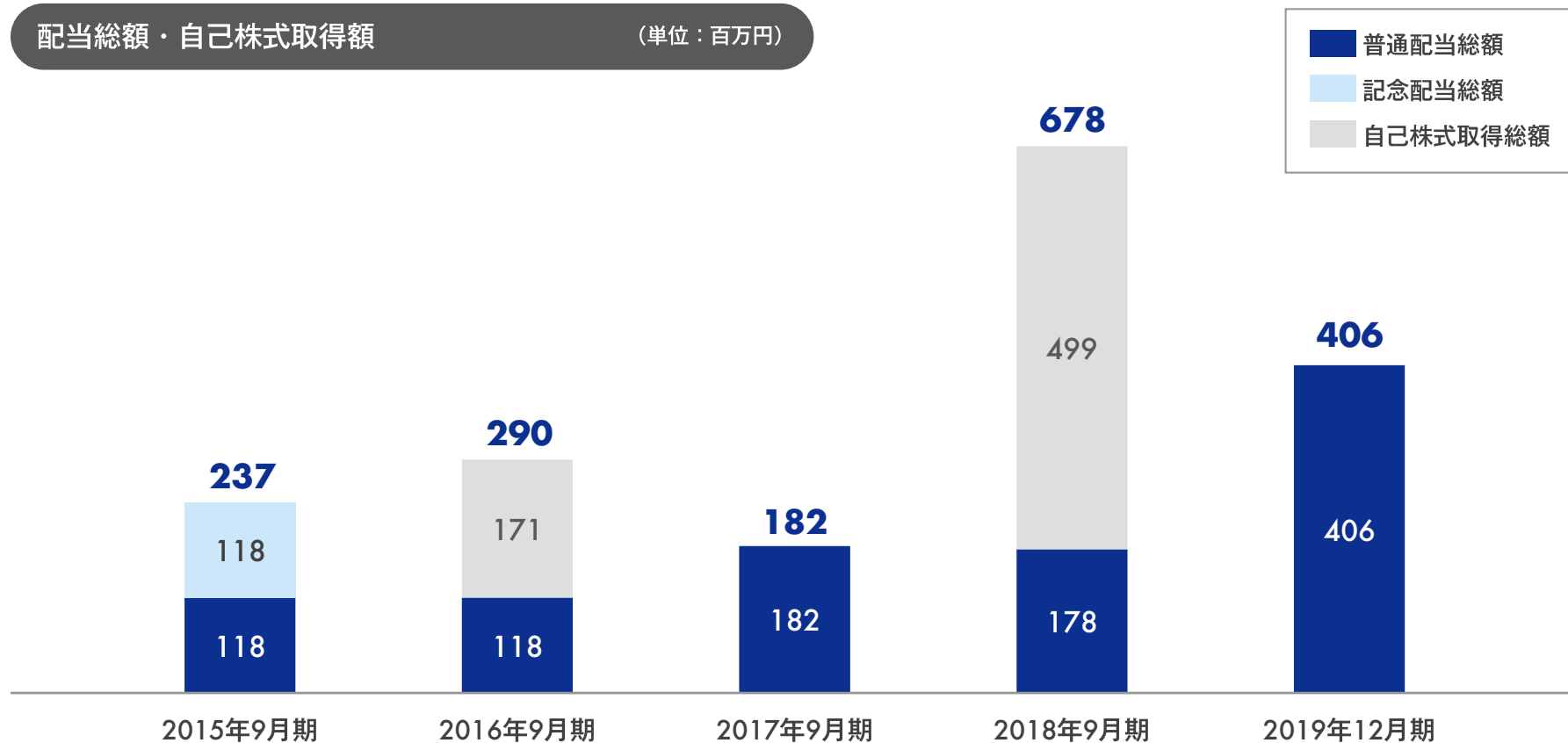
※2 CMerTV除く前年比

# 36 株主還元について

当社では株主への利益還元を重要な経営課題の一つとして認識し、事業成長や資本効率の改善等による中長期的な株主価値の向上に努めるとともに、継続的な配当及び機動的な自己株式取得を実施していくことを株主還元の基本方針としております。

配当総額・自己株式取得額

(単位：百万円)

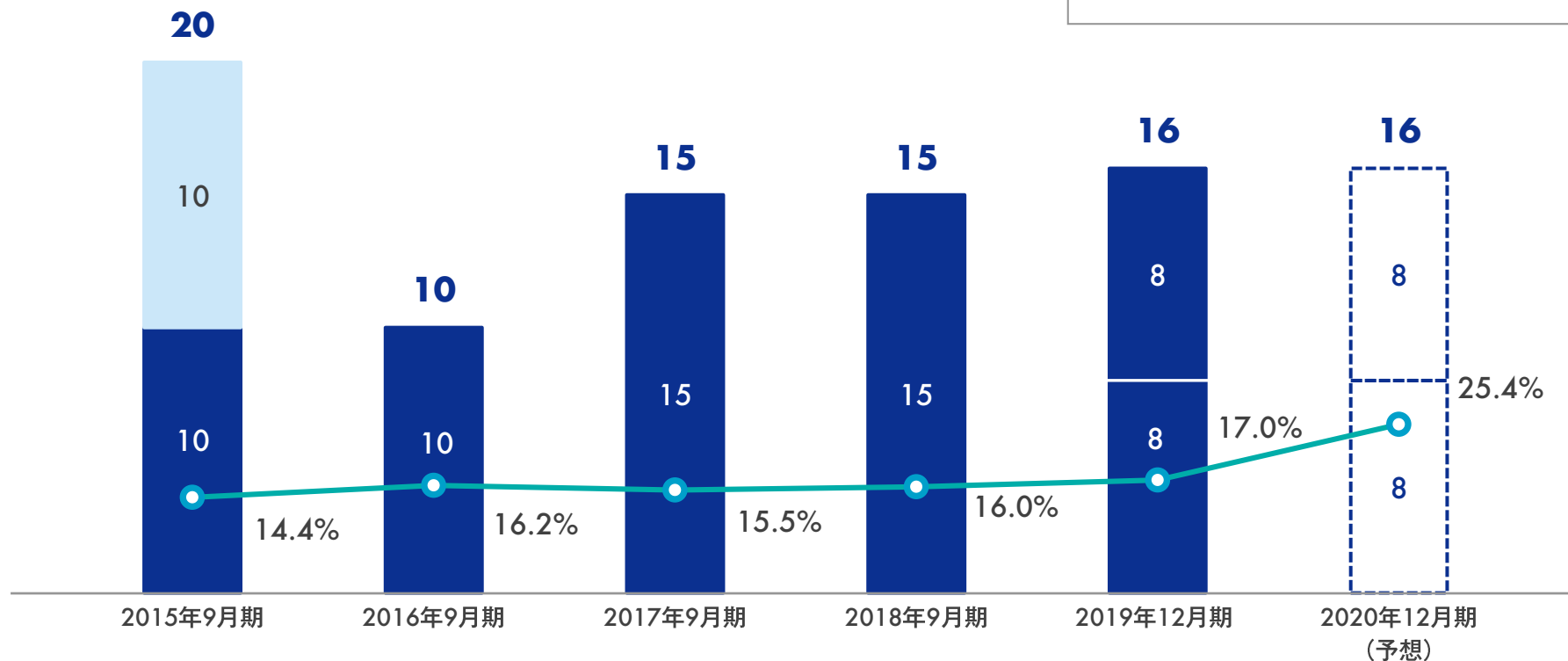
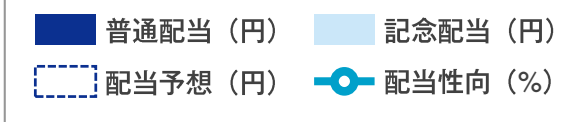




# 37 配当について

配当額については、連結業績、単体の資金繰り等を考慮した財務の健全性、将来の事業展開のための内部留保等を総合的に勘案して決定いたします。  
2020年度については、16円/株（中間配当8円/株、期末配当8円/株）を予想しています。

## 配当・配当性向



# 38 自己株式取得について

2019年度についてはEBITDAが期首業績予想を大幅に上回ったため、株主還元の一環として以下のとおり自己株式取得を実施いたします

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得し得る株式の総数	300,000株（上限） （発行株式総数（自己株式除く）に対する割合1.18%）
株式の取得価額の総額	2.9億円（上限）
取得方法	東京証券取引所による市場買付

# AGENDA

P.02 2019年度通期 連結業績

P.12 2019年度通期 主要事業概況

P.29 2020年度 方針と業績見通し

**P.39** 補足資料

P.47 参考資料



# 2019年12月期第5四半期 連結決算の概要

両社合算数値に対しては前年同四半期比で売上総利益5.4%増

決算インセンティブを考慮すると実質的には営業利益は12.9億円(前年同四半期9.6%増)に

## 2019年12月期第5四半期 (2019年10月～12月)

実績

前年同四半期※1

前年同四半期  
(両社の合算数値※2)

実績

増減率

実績

増減率

(単位：百万円)

売上高	6,766	2,964	+128.3%	6,195	+9.2%
売上総利益	5,769	2,488	+131.8%	5,474	+5.4%
営業利益	1,039	423	+145.3%	1,180	-12.0%
のれん償却前 営業利益	1,209	475	+154.3%	1,233	-1.9%
EBITDA ※3	1,338	674	+98.4%	1,518	-11.9%

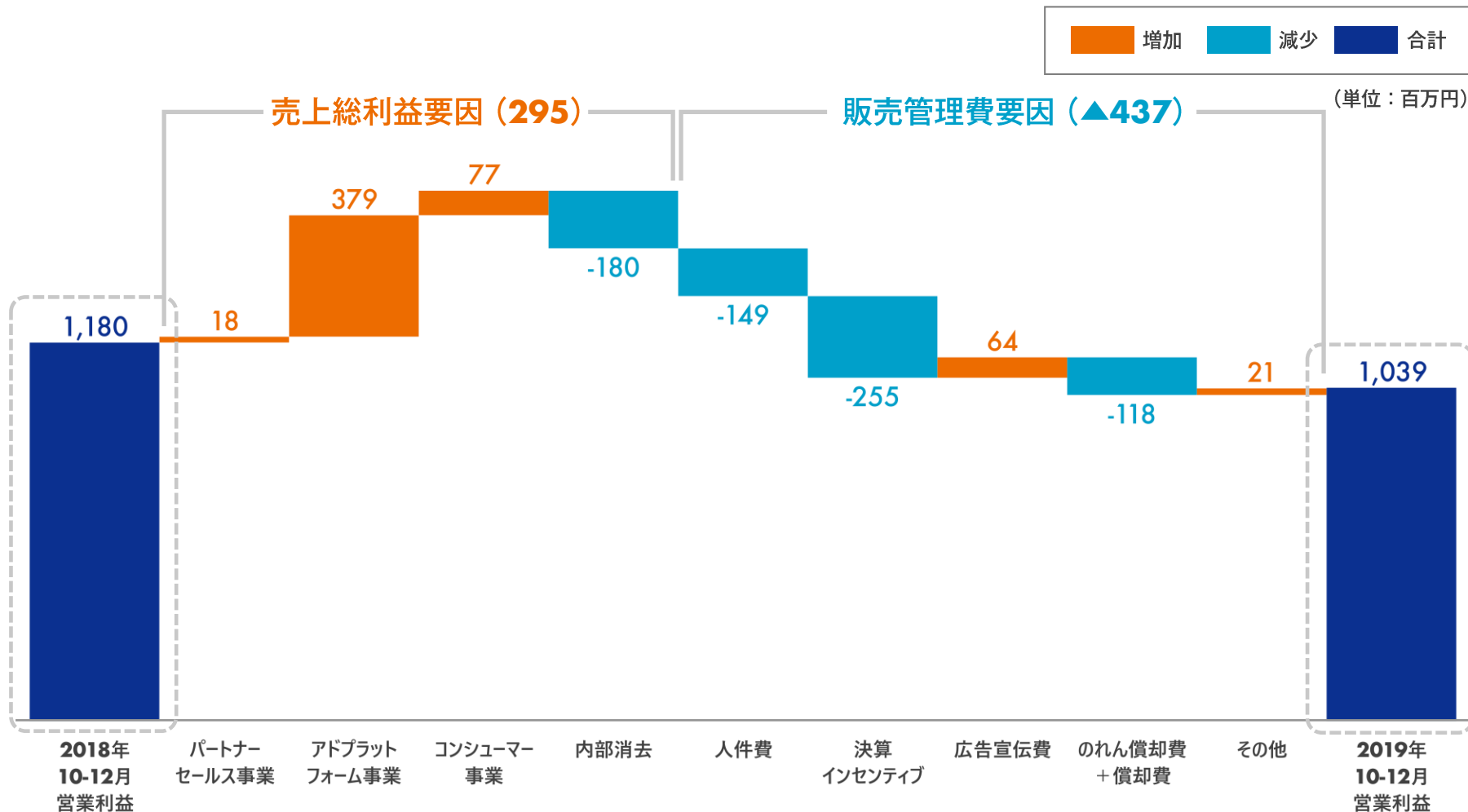
※1 新収益認識基準（ネット計上）の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPの数値（監査対象外）

※2 比較情報として新収益認識基準（ネット計上）の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

※3 EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）＝税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋償却費＋のれん償却費

# 42 連結営業利益の増減要因

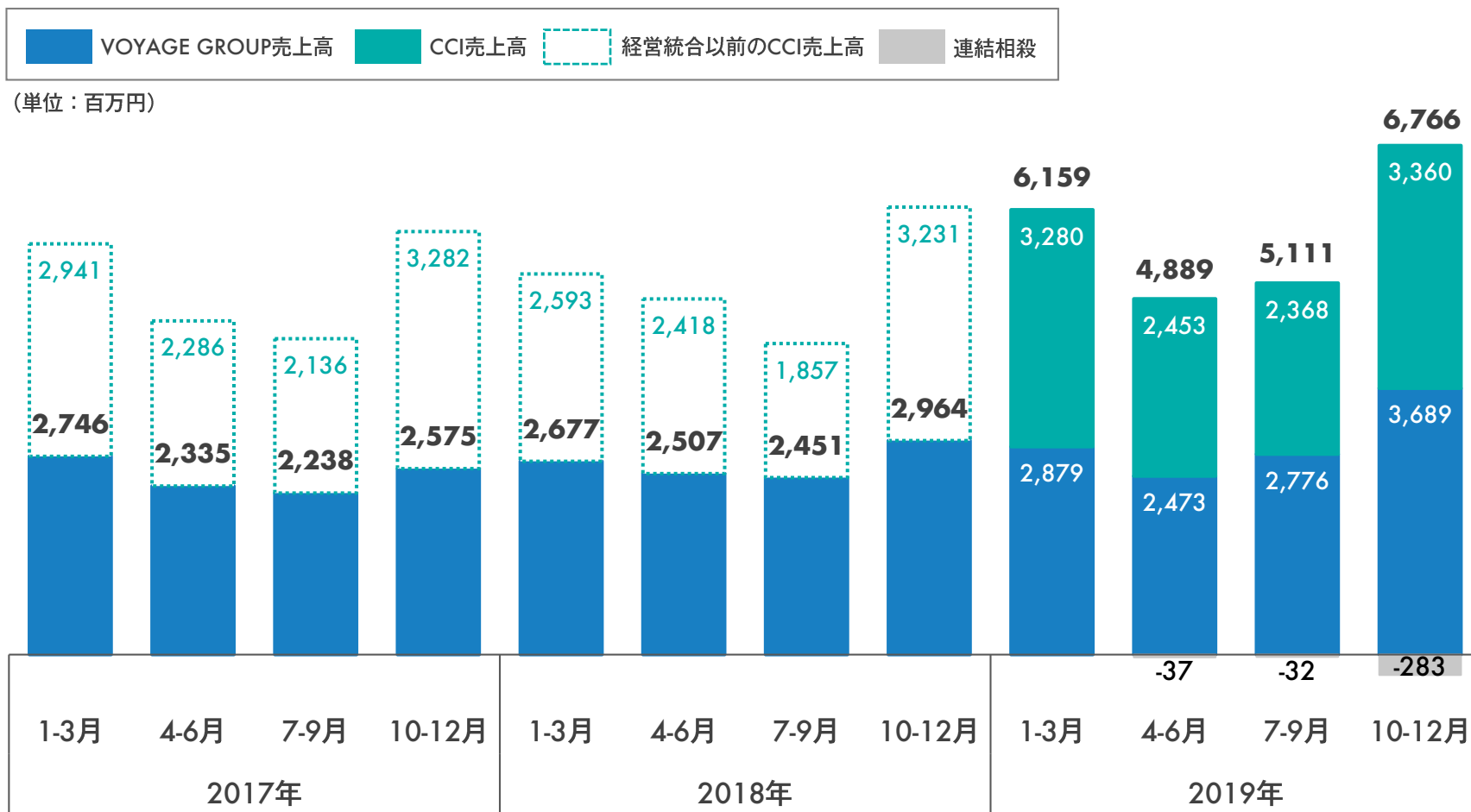
売上総利益が前年同四半期2.9億円増加した一方で、販売管理費全体では4.3億円増となり営業利益は10.3億円に



※ 2018年はVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

# 43 連結売上高 四半期推移

前年同四半期比で約2.2倍の67.6億円、両社の合算数値との比較でも9.2%増に

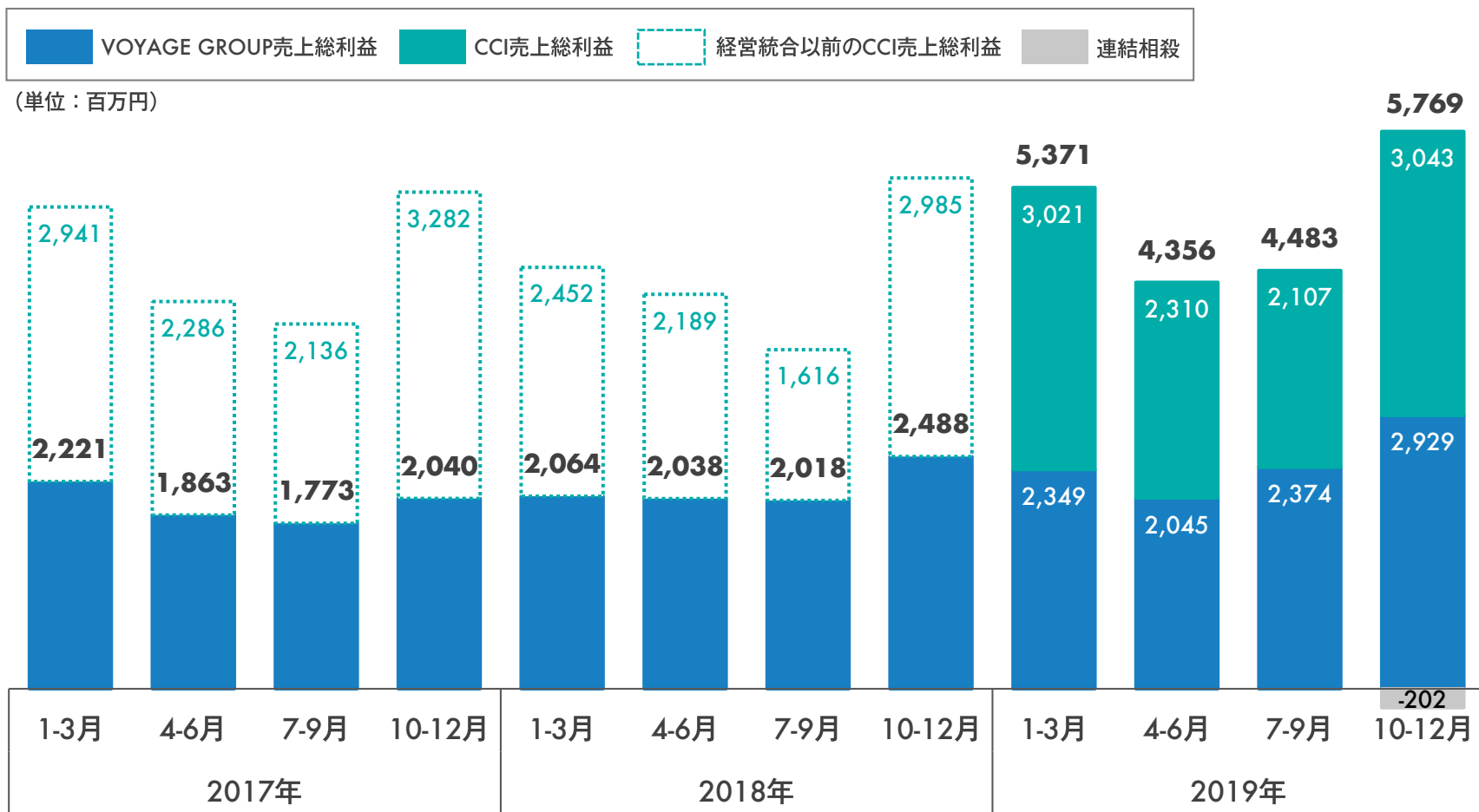


※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準（ネット計上）の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUP及びCCIの数値（監査対象外）



# 44 連結売上総利益 四半期推移

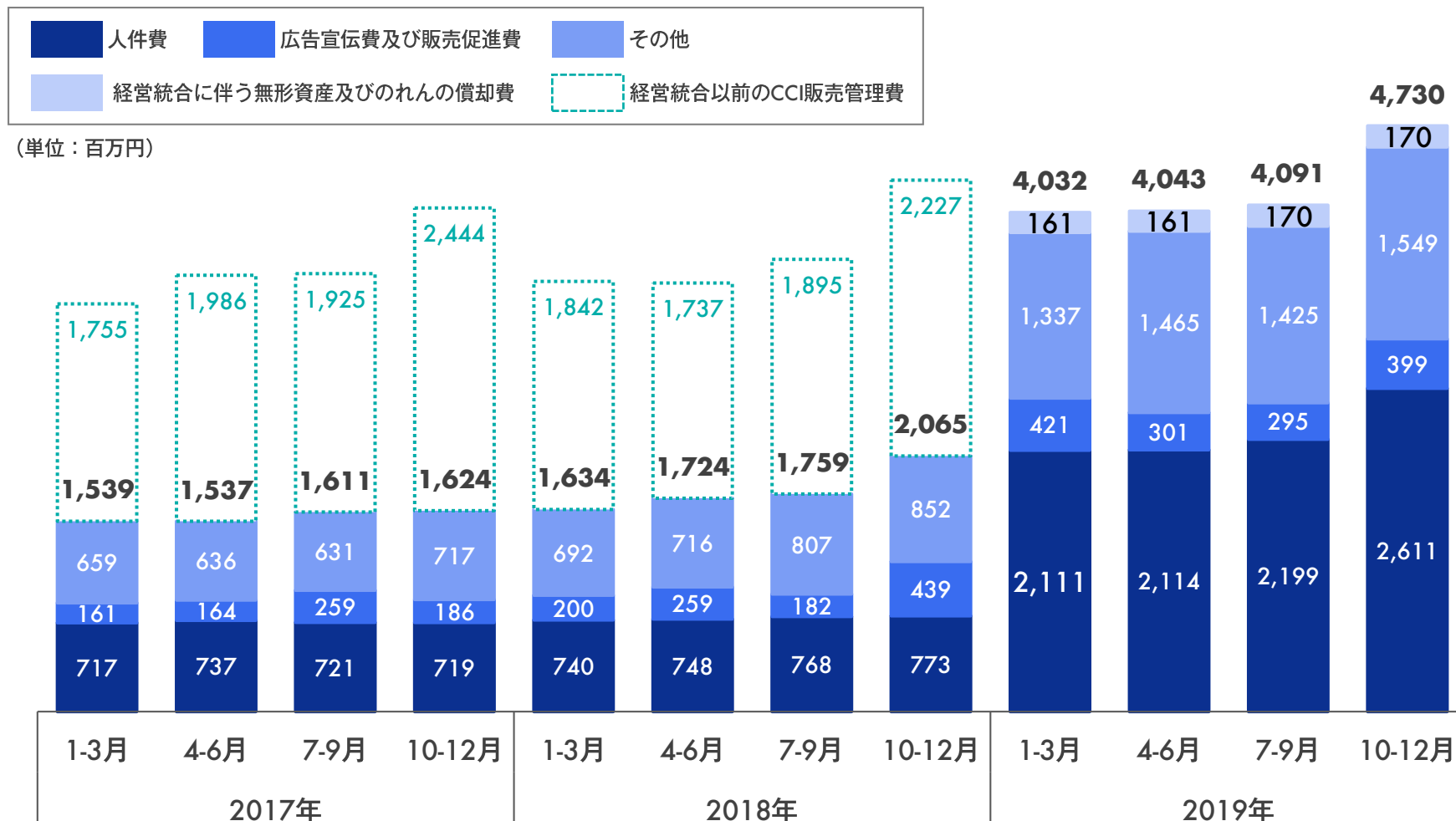
前年同四半期比で約2.3倍の57.6億円、両社の合算数値との比較でも5.4%増に



※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準（ネット計上）の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUP及びCCIの数値（監査対象外）

# 45 連結販売管理費 四半期推移

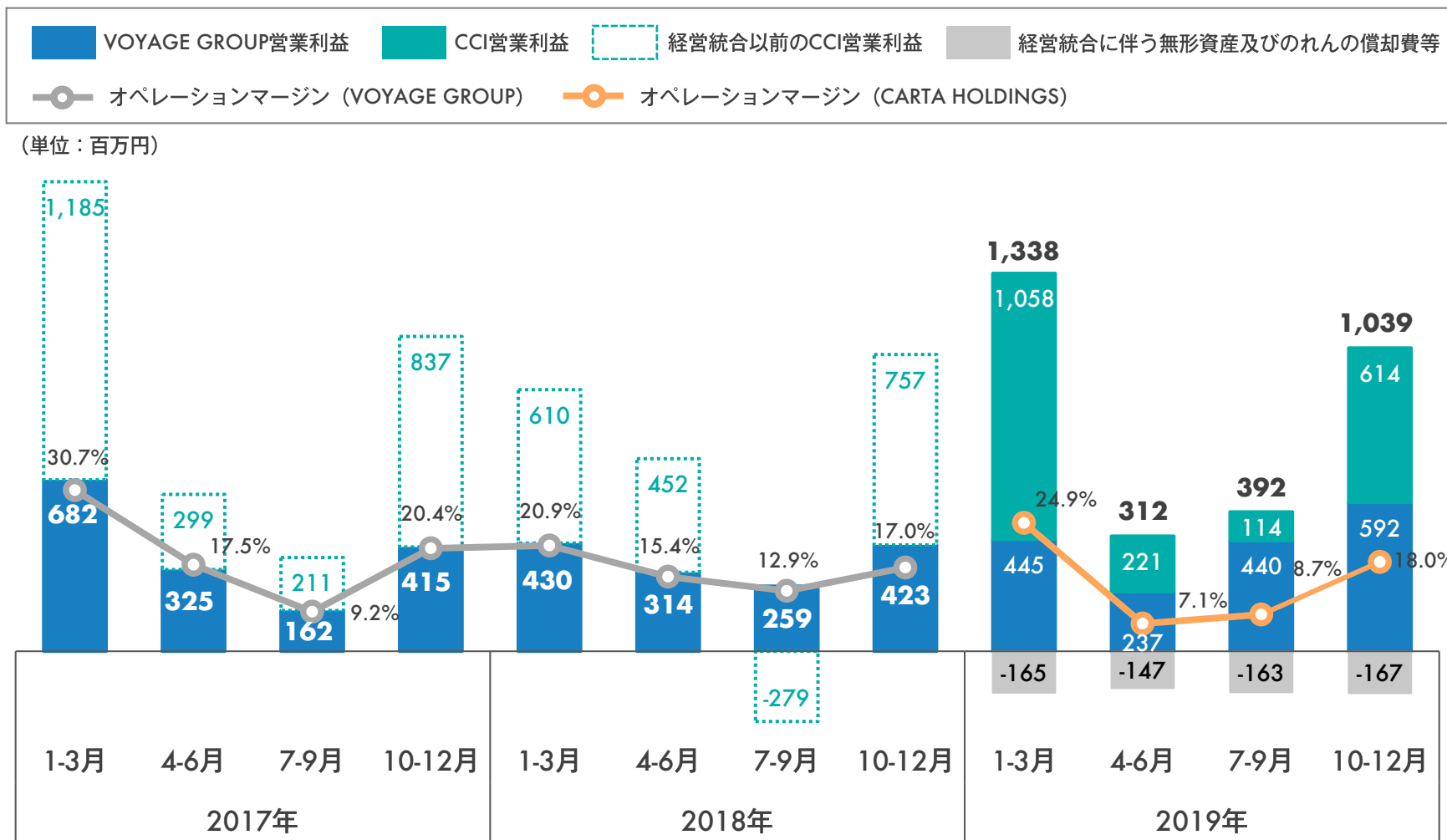
決算インセンティブの支給による人件費増等により47.3億円に



※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準（ネット計上）の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUP及びCCIの数値（監査対象外）

# 46 連結営業利益 四半期推移

前年同四半期比で約2.4倍の10.3億円に



※ 2018年以前は、比較情報として新収益認識基準（ネット計上）の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUP及びCCIの数値（監査対象外）

※ オペレーションマージン = 営業利益 ÷ 売上総利益

# AGENDA

P.02 2019年度通期 連結業績

P.12 2019年度通期 主要事業概況

P.29 2020年度 方針と業績見通し

P.39 補足資料

P.47 参考資料

中期経営計画  
「CARTA 2022」  
(再掲)

**CARTA**  
HOLDINGS

中期経営計画

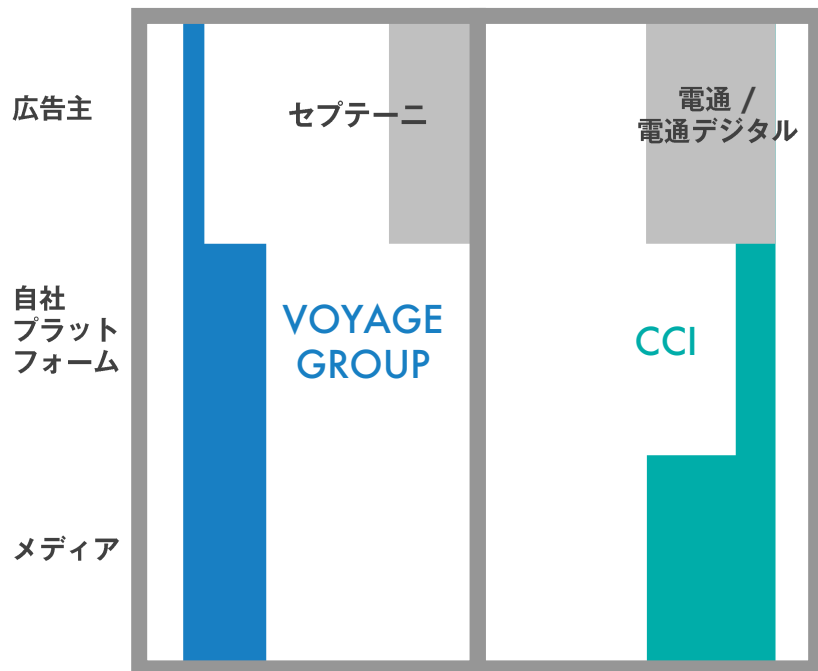
**「CARTA 2022」**

~NEW JOURNEY, NEW STANDARD~

## インターネット広告市場

パフォーマンス広告

ブランド広告

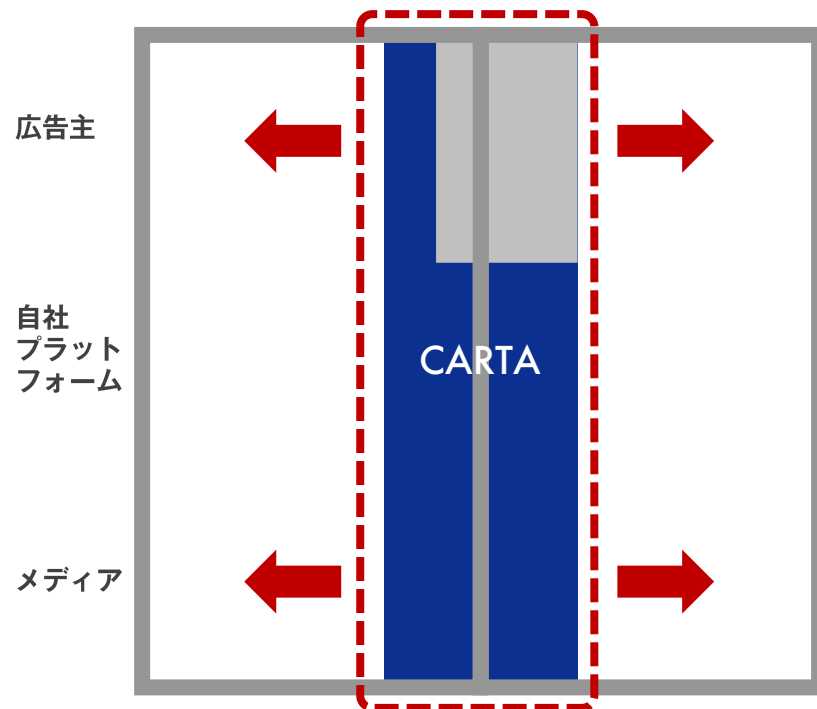


これまで各々で垂直統合と競争優位性の向上を目指してきた。

## インターネット広告市場

パフォーマンス広告

ブランド広告



経営統合によりパフォーマンス広告 / ブランド広告の両市場をカバーする、垂直統合した事業体を確立する。その総合力を武器に自社プラットフォームを強化し、広告主・メディアのシェアを拡大。

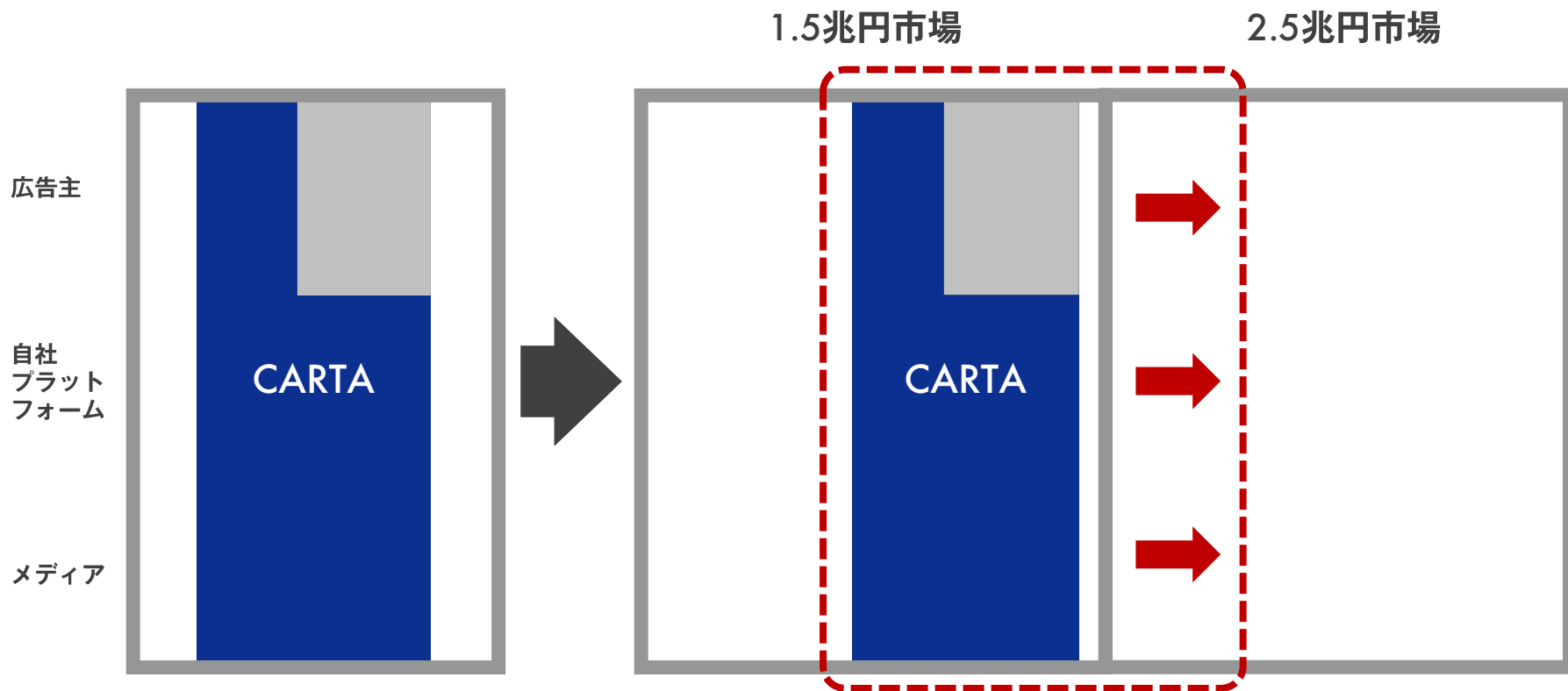


# 51 CARTAの成長シナリオ - Phase2-

## インターネット広告市場

## インターネット広告市場

## テレビ / OOH広告市場

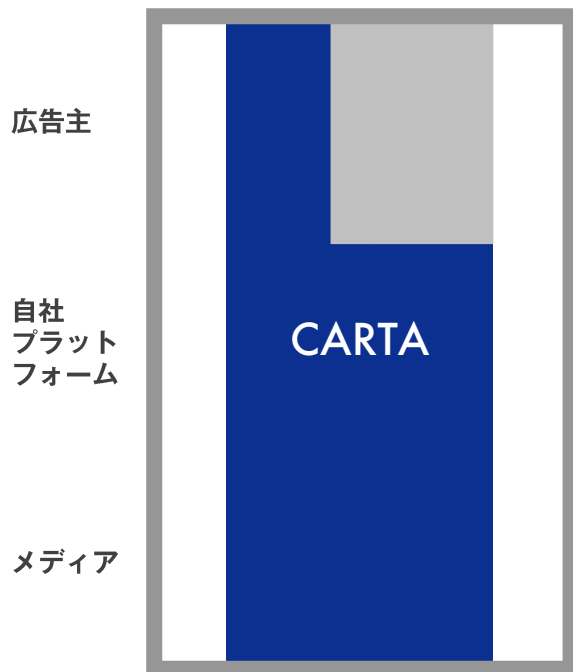


パフォーマンス広告 / ブランド広告両市場の境界線がなくなっていく中で、インターネット広告領域において総合的な価値提供力が高い状態。

インターネット広告領域での総合力を、急速にデジタル化が進むと予想されるオフライン広告領域に展開し拡張していく。広告産業のデジタルトランスフォーメーションの先導役となる。

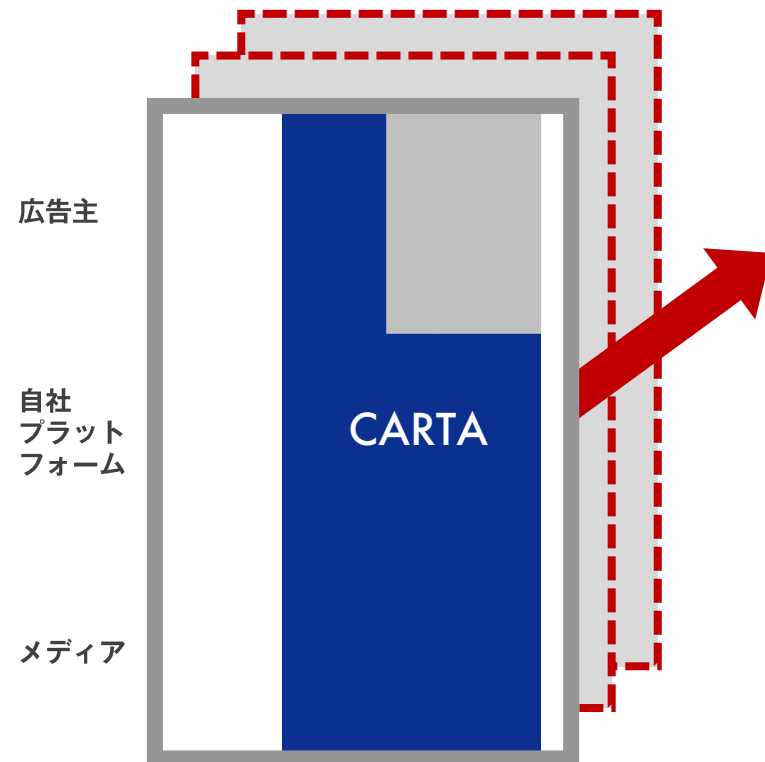
## インターネット / テレビ / OOH広告市場

4兆円市場



オンライン広告 / オフライン広告の境界線がなくなって  
いく中で、広告領域において総合的な価値提供力が高い  
状態。

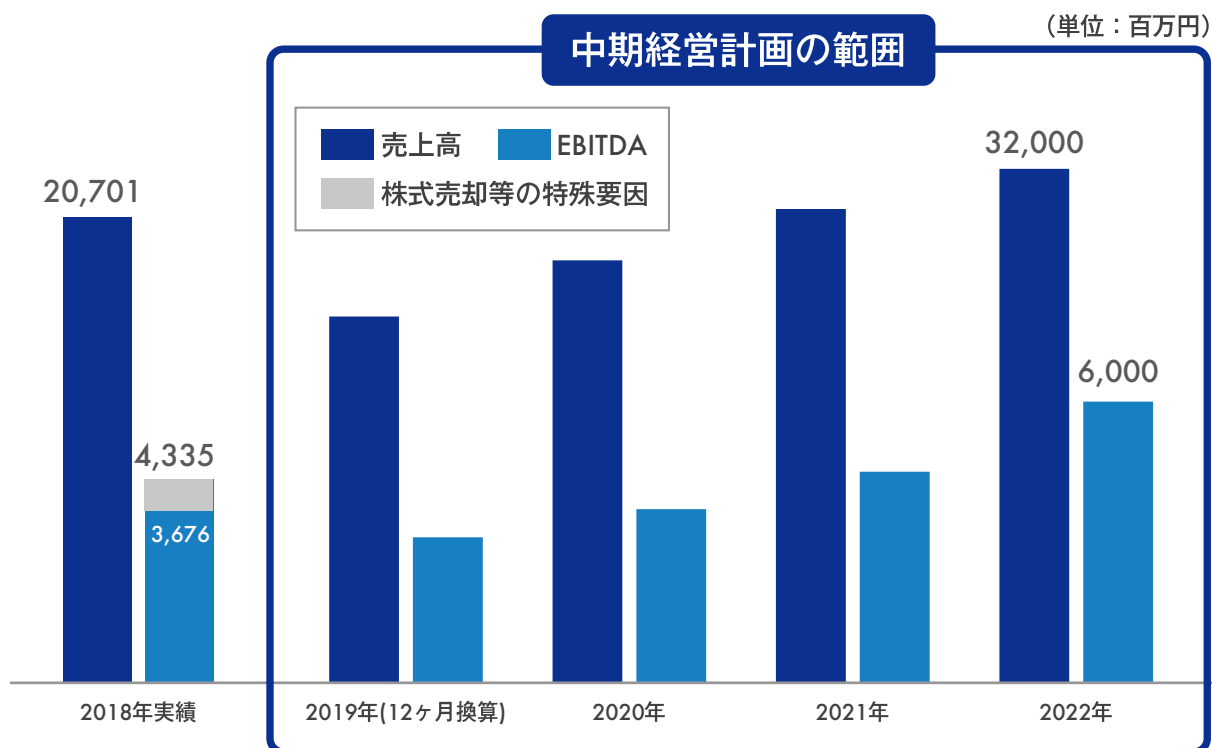
## 他の産業へ展開



広告領域での総合力を、デジタル化が進む全産業領域に  
展開し拡張していく。あらゆる分野のデジタルトランス  
フォーメーションの先導役となる。

# 53 中期経営計画「CARTA2022」の概要

EBITDAを重要指標とし、2022年度で60億円を目指す



## 重点的な取り組み

- ①事業シナジーの推進
- ②電通グループとの協業推進
- ③経営基盤の強化

## 成長戦略

- ①既存事業の成長
- ②M&Aや投資による成長
- ③新領域への挑戦

飛躍の  
ステージへ

※1 各年12月期ベースでの12ヶ月間の数値。2019年度は実際には15ヶ月間の変則決算。

※2 2018年実績は、比較情報として新収益認識基準の早期適用を遡及して反映したVOYAGE GROUPとCCIとの単純合算数値（監査対象外）

## 2022年 経営目標

売上 ————— 320 億円

EBITDA<sup>※1</sup> ————— 60 億円

ROE ————— 12%

※1 EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）＝税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋償却費＋のれん償却費

CARTA  
HOLDINGS

CARTA  
HOLDINGS

CARTA  
HOLDINGS

# 会社概要



# CARTA

## HOLDINGS

会社名	株式会社CARTA HOLDINGS
設立	1999年10月8日
資本金	1,096百万円（2019年12月末時点）
上場市場	東証第一部（証券コード：3688）
決算期	12月
売上高	22,927百万円（2019年1月～2019年12月）
従業員数※1	1,149名（2019年12月末時点）

※1 従業員数は臨時雇用者を含まない数値

# 57 経営統合について

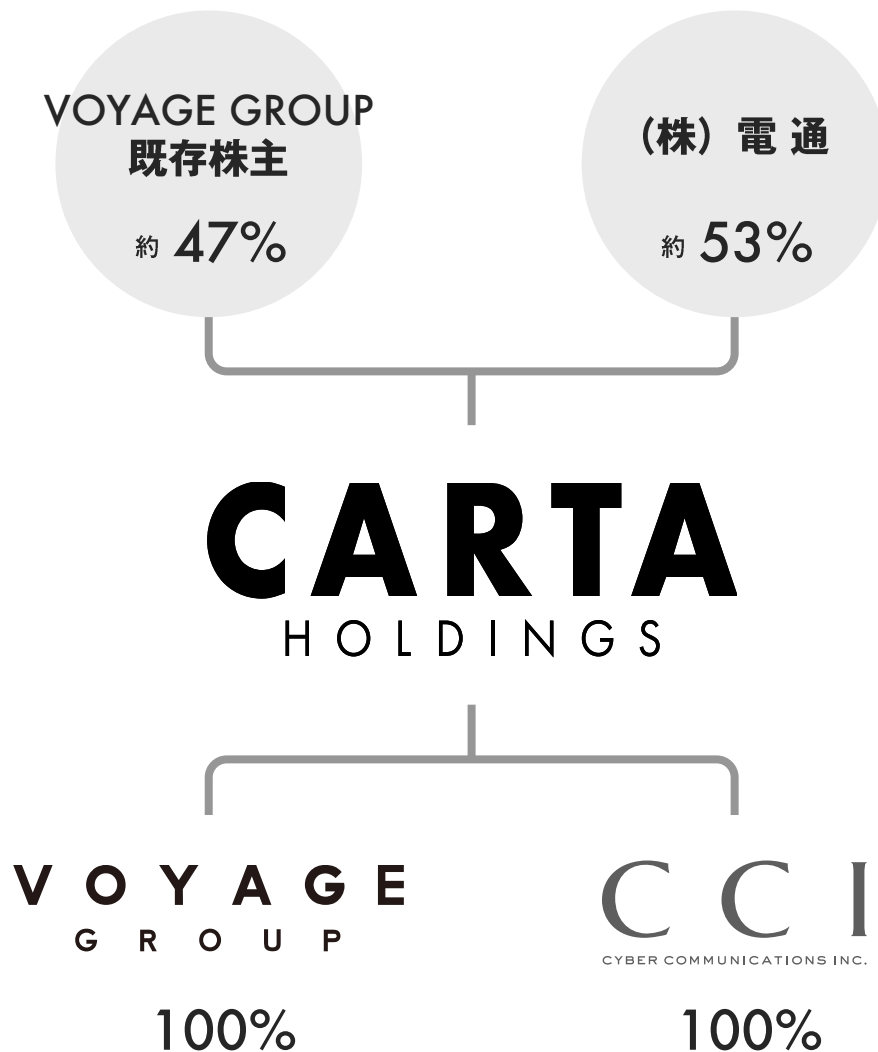
CARTA HOLDINGSは、  
2019年1月に東証一部上場企業である  
**VOYAGE GROUP**と  
電通100%子会社の  
**サイバー・コミュニケーションズ (CCI)** が  
経営統合してできた持株会社です。

## [ VOYAGE GROUP ]

アドプラットフォーム事業を中心に幅広く事業展開。  
テクノロジーや事業開発力が強み。

## [ CCI ]

デジタル広告のメディアレップ事業を中心に事業展開。  
強い顧客基盤が特徴。

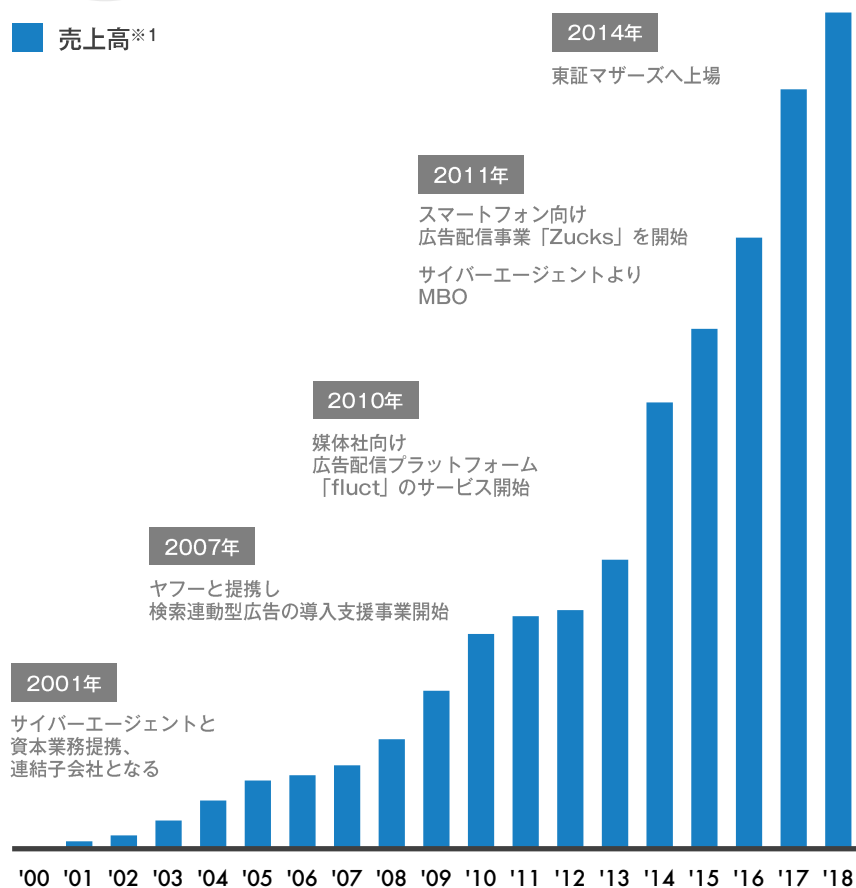




## VOYAGE GROUP

様々なインターネット関連事業を展開  
2012年以降はアドテクノロジー事業が大きく成長

■ 売上高※1

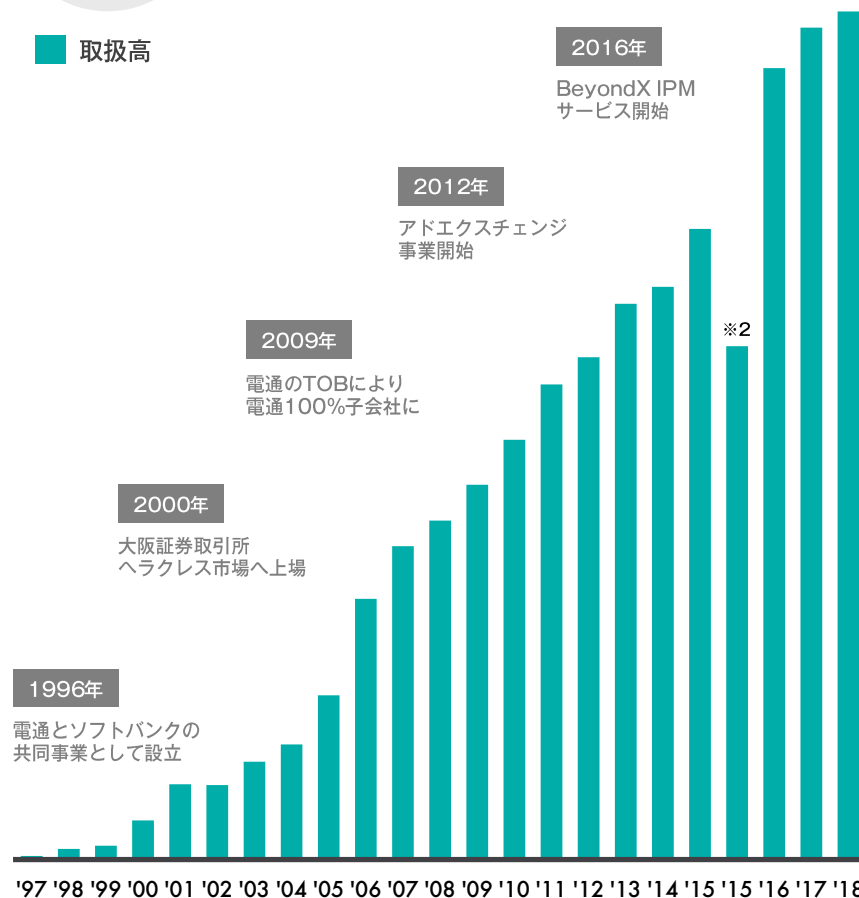


## CCI

CYBER COMMUNICATIONS INC.

メディアレップとしてヤフーなどの  
予約型広告の販売を中心に事業成長を実現

■ 取扱高



※1 新収益認識基準を適用する前のグロス計上ベースの売上高  
※2 CCIの2015年12月期は3月期から12月期への決算期変更に伴う9ヶ月間の変則決算

## 連結子会社

**VOYAGE**  
GROUP

株式会社VOYAGE GROUP  
インターネットビジネスの事業開発



**DataCurrent**

株式会社DataCurrent  
データ活用推進、コンサルティング業務



**VOYAGE GAMES**  
株式会社VOYAGE GAMES  
ゲームマーケティング事業



株式会社サイバー・コミュニケーションズ  
インターネット広告及び関連する下記の事業  
・ 広告の提案、企画、制作、運営  
・ 広告スペースの購入、販売

**リサーチパネル**

株式会社リサーチパネル  
アンケートモニターサイト  
「リサーチパネル」の運営

**サポーターズ**

株式会社サポーターズ  
キャリア支援事業

**ATRAC**

株式会社ATRAC  
デジタルマーケティング事業

**VOYAGE**  
MARKETING

株式会社VOYAGE MARKETING  
ポイントサイト「ECナビ」、  
ポイント交換プラットフォーム「PeX」、  
国内最大の無料辞典「コトバンク」等の運営

**ふるさと本舗**

株式会社ふるさと本舗  
ふるさと納税サイト  
「ふるさと本舗」の運営

**fluct**

株式会社fluct  
媒体社向け  
アドプラットフォーム「fluct」の運営

**rakanu**

rakanu株式会社  
犬種特化型のペットメディア事業

**VOYAGE**  
VENTURES

株式会社VOYAGE VENTURES  
未上場インターネット関連  
ベンチャー企業への投資

**Zucks**

株式会社Zucks  
スマートフォン向け  
アドプラットフォーム「Zucks」の運営



株式会社VOYAGE Lighthouse Studio  
「神ゲー攻略」等のメディア運営

## 持分法適用関連会社

**C-POT**

株式会社C-POT  
出版社コンテンツを活用した事業開発

**株式会社 ドウ・ハウス**  
HUMAN NETWORKING INDUSTRY

株式会社ドウ・ハウス  
クチコミプロモーション及び  
リサーチのサービス提供



Marketing Applications

株式会社マーケティング  
アプリケーションズ  
オンラインマーケティングリサーチ事業

**Media**  
**vague**

株式会社メディア・ヴァーグ  
「乗りものニュース」等のメディア運営

**M**  
**MEDIATOR**

株式会社Mediator  
クリエイティブプランニング、  
コンテンツ制作事業

**VENTENY**  
EMPLOYEE HAPPINESS

VENTENY PTE. LTD.  
新興国における従業員向け  
レンディングサービス事業

**selvas**  
M

SelvasM. Inc.  
海外向けモバイルゲーム事業

VOYAGE  
GROUP

# 会計上の留意事項

# 61 ① 決算期変更に伴う15ヶ月変則決算

12月期への決算期変更の経過措置として2019年度は15ヶ月間の変則決算となる

	2018年 7~9月	10~12月	2019年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
9月決算 (変更前)	2018年 9月期	2019年9月期				2020年 9月期
12月決算 (変更後)	2018年 9月期	2019年12月期 (15ヶ月決算)				

# 62 ②事業セグメントの見直し

第2四半期決算より事業セグメントを下記の通りに見直し

	事業内容	事業セグメント (経営統合前)	事業セグメント (経営統合後)
CCI	メディアレップ、 人材派遣・業務委託など	—	パートナーセールス事業
	Beyond X、PMPなど	—	アドプラットフォーム事業
VOYAGE GROUP	Zucks、fluct、CMerTVなど	アドプラットフォーム事業	コンシューマー事業
	ECナビ、PeX、 リサーチパネル	ポイントメディア事業	
	EC、FinTech、HRなど	インキュベーション事業	
	VOYAGE VENTURESなど		

# 63 ③収益認識に関する会計基準の早期適用

2021年4月以降適用が予定されている収益認識に関する会計基準※1を  
第2四半期決算より早期適用※2

事業セグメント	取引内容	収益認識基準 (変更前)	収益認識基準 (変更後)
パートナーセールス 事業	メディアレップなど	グロス計上	ネット計上
	人材派遣・業務委託	グロス計上	変更なし
アドプラットフォーム 事業	全て	グロス計上 (一部ネット計上)	ネット計上
コンシューマー 事業	VM社ポイント交換・オンデマンド ギフト・ギフトピー	グロス計上	ネット計上
	上記以外	グロス計上 (一部ネット計上)	変更なし

※1 企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」

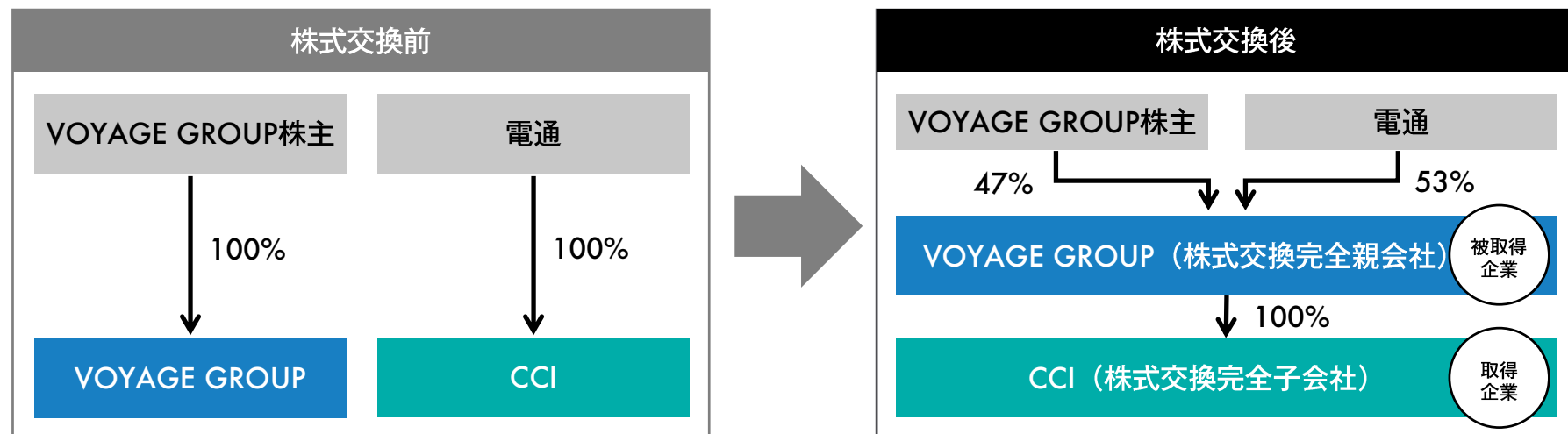
※2 原則適用は2021年4月1日以後開始する連結会計年度及び事業年度の期首から（当社グループの場合は2022年1月から）

# 64 ④ 逆取得の会計処理の適用

本経営統合は逆取得の会計処理が適用されるため、  
第2四半期決算以降、第1四半期の損益計算書にはCCIの業績を反映

	第1四半期 2018年10月～12月	第2四半期 2019年1月～3月	第3四半期 2019年4月～6月	第4四半期 2019年7月～9月	第5四半期 2019年10月～12月
VOYAGE GROUP	第1四半期 決算発表の対象	CARTA HOLDINGS (第2四半期決算以降の対象)			
CCI	第2四半期以降 決算発表の対象				

※逆取得の会計処理：株式交換後にCCIの株主である電通が、VOYAGE GROUPの議決権の過半数を保有することから、会社法上の株式交換完全子会社であるCCIを企業結合会計上では取得企業とする処理のこと





# 65 ⑤ 経営統合に伴う無形資産及びのれんの計上について

本経営統合に際するPPA※1の結果、約64.5億円の無形資産及びのれんを計上  
10年間で定額償却により、年間約6.5億円※2の償却費が発生

(単位：百万円)

資産項目	金額
無形資産 ポイントメディアの商標権	812
無形資産 アドプラットフォームの技術関連資産	2,470
のれん※3	3,177
合計	6,459
(年間償却金額)	645

※1 PPA (Purchase Price Allocation) : 買収時に発生する購入価額と純資産との差額を、資産項目別に評価し直す手続きのこと

※2 経営統合前にVOYAGE GROUPで計上されていたのれんの償却費が年間約2億円あったため、純増では年間約4.5億円

※3 経営統合前にVOYAGE GROUPで計上されていたのれんの再評価分も含む

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報、並びに財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれていることをご承知おきください。